

パフォーマンスグラフ 操作マニュアル

Version 1.1.0





2017 年 5 月 2 日

著作：NTTコミュニケーションズ株式会社

[illegible]

目次

1	はじめに	4
2	概要	4
2.1	パフォーマンスグラフの表示項目	4
2.2	パフォーマンスグラフの表示単位	5
2.3	パフォーマンスグラフのポーリング間隔	6
2.4	パフォーマンスグラフの保持期間	6
3	ログイン・ログアウト	7
3.1	概要	7
3.2	ログイン	7
3.3	ログアウト	8
3.4	画面の見方	9
①	メインメニュー	10
②	監視データのサブメニュー	10
③	設定のサブメニュー	10
④	操作アイコン	10
4	グラフの表示	11
4.1	概要	11
4.2	グラフ表示	12
4.3	表示期間	15
①	期間変更モード	17
②	ズームによる表示期間変更	18
③	1日追加ボタンによる表示期間変更	19
④	指定期間による表示期間変更	20
⑤	カレンダーによる表示期間変更	21
⑥	スクロール操作による表示期間変更	22
⑦	マウス選択による表示期間変更	23
5	出力（ダウンロード）機能	24
5.1	概要	24
5.2	出力形式	24
5.3	出力期間	25
5.4	出力書式	25
5.5	出力内容	26
6	スクリーンの作成と表示	28
6.1	概要	28
6.2	スクリーン作成	30
6.2.1	スクリーン一覧	30
6.2.2	スクリーン設定	31
6.2.3	グラフの配置	33
6.2.4	グラフの配置例	35
6.3	スクリーン表示	36
7	ブックマーク設定	37
7.1	概要	37
7.2	ブックマークの登録	38
7.2.1	ブックマークのメニューからグラフを登録	38

7.2.2	グラフを表示してから操作アイコン  で登録.....	40
7.2.3	ブックマークのメニューからスクリーンを登録.....	41
7.2.4	スクリーンを表示してから操作アイコン  で登録.....	42
7.3	ブックマークの削除.....	43
7.3.1	ブックマークのメニューからグラフを削除.....	43
7.3.2	グラフを表示してから操作アイコン  で削除.....	44
7.3.3	ブックマークのメニューからスクリーンを削除.....	44
7.3.4	スクリーンを表示してから操作アイコン  で削除.....	44
8	検索.....	45
8.1	概要.....	45
8.2	ホスト、スクリーンの検索.....	46
9	パスワード変更.....	47
9.1	概要.....	47
9.2	パスワードの変更方法.....	47
10	お問い合わせ先.....	49

1 はじめに

本マニュアルは、パフォーマンスグラフの操作方法を説明するものです。

(パフォーマンスグラフは、2016 年 8 月 1 日にご提供を開始しました。)

パフォーマンスグラフをご利用いただくには、以下の対応ブラウザをご利用ください。

対応ブラウザ	Mozilla Firefox 29 以降のバージョン
パフォーマンスグラフ URL	https://rtr.agilit-hosting.com

2 概要

パフォーマンスグラフは、以下の機能を提供するシステムです。

- ・パフォーマンスデータをグラフで可視化する機能 「4 グラフの表示」
- ・パフォーマンスデータを csv 形式で出力する機能 「5 出力（ダウンロード）機能」
- ・複数のグラフをお好みのレイアウトで表示するスクリーン機能 「6 スクリーンの作成と表示」

2.1 パフォーマンスグラフの表示項目

以下に主な表示項目を示します。

お客様の機器の対応状況により表示項目が異なる場合があります。

表示項目	サーバ ※	NW 機器	説明	備考
Bandwidth	○	○	インバウンド、アウトバウンド処理能力をインタフェースごとに表示します。	横軸：経過時間 縦軸：1 秒当りの処理能力 (Mbits/sec)
CPU	○	－	CPU の使用量（ユーザー使用量、システム使用量、全体の使用量）	横軸：経過時間 縦軸：CPU 使用率 (%)
Disk Space Used	○	－	ディスクの使用量を表示します。	横軸：経過時間 縦軸：ディスク使用率 (%)
Load Average	○	－	CPU の平均負荷（実行プロセス数の平均）を表示します。Linuxのtopコマンドで得られる値とほぼ同値です。	横軸：経過時間 縦軸：プロセス数
Memory	○	－	メモリ使用量とスワップメモリ使用量を表示します。	横軸：経過時間 縦軸：メモリ使用率 (%)
Operations	○	－	ディスクの読み込み回数と書き込み回数を表示します。	横軸：経過時間 縦軸：1 秒当りのディスク読み込み/書き込み回数

表示項目	サーバ ※	NW 機器	説明	備考
Packets	○	○	パケットの送受信を正常パケットとエラーパケットに分けて表示します。	横軸：経過時間 縦軸：1秒当りのパケット量
Process	○	－	システムで動作しているプロセス数を表示します。	横軸：経過時間 縦軸：実行中のプロセス数
Queue Length	○	－	ディスクに対する操作待ちの平均を表示します。	横軸：経過時間 縦軸：読み取り/書き込み要求数
Segments	○	○	セグメントの送受信を送信セグメントと受信セグメントに分けて表示します。	横軸：経過時間 縦軸：1秒当りのセグメント数
Uptime	○	○	機器の連続稼働時間を表示します。 停止/起動や再起動、電源の入れなおしを行うと値はリセットされます。	横軸：経過時間 縦軸：連続稼働時間

※Windows 系/Linux 系サーバ

2.2 パフォーマンスグラフの表示単位

表示単位	説明	備考
グラフ	1画面に表示する最小単位です。 1台のホストの1つの表示項目（CPU、Memoryなど）について図示するものです。	
スクリーン	「グラフ」の集合体です。 スクリーンは、任意のホストの任意のグラフを、お好みのレイアウトで1画面内に表示する機能です。	■スクリーン作成上限数：100 ■1つのクリーンに表示可能なグラフの上限数：50
ブックマーク	「グラフ」または「スクリーン」のリンクです。 ブックマークから選択すれば、よく見る「グラフ」や「スクリーン」を簡単に表示することができます。	■ブックマーク作成上限数：100

2.3 パフォーマンスグラフのポーリング間隔

項目	間隔時間	備考
ポーリング間隔	5分毎	前回ポーリングに成功した時刻から5分後に次のポーリングを実施します。または、ポーリングを再開してから5分後に次のポーリングを実施します。

2.4 パフォーマンスグラフの保持期間

項目	説明	保持期間
history データ	5 分間毎に計測されたパフォーマンス値の生データ	60 日間
trends データ	history データをもとに、00 分を起点として 1 時間ごとの平均値に計算されたデータ	400 日間

60 日を経過したデータは、trends データとして 1 時間ごとの平均値に計算します。
詳細は「5.5 出力内容」を参照してください。

3 ログイン・ログアウト

3.1 概要

パフォーマンスグラフのログイン・ログアウト方法を説明します。

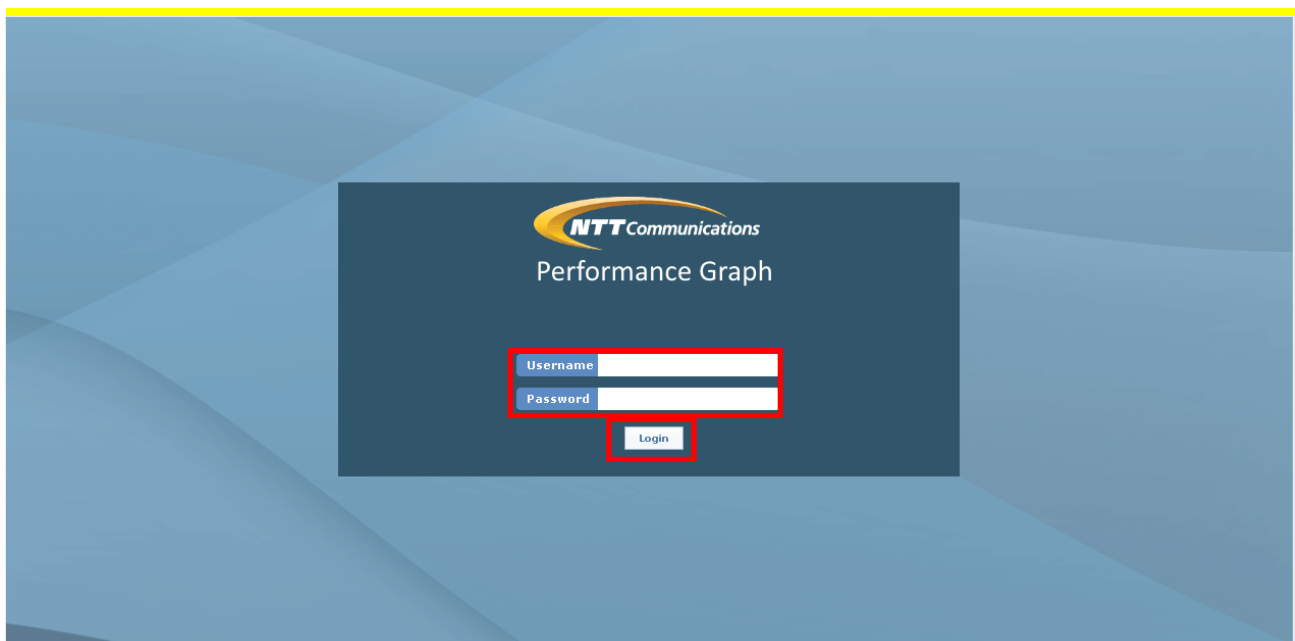
3.2 ログイン

ログイン方法は以下の通りです。

1. ブラウザからパフォーマンスグラフ (<https://rtr.agilit-hosting.com>) にアクセスします。

ご登録済みの「ユーザ名／パスワード」を入力します。

※旧サービス（AGILIT グラフ）をご利用いただいていたお客さまへは、2016 年 7 月に「ユーザ名／初期パスワード」を通知させていただきました。



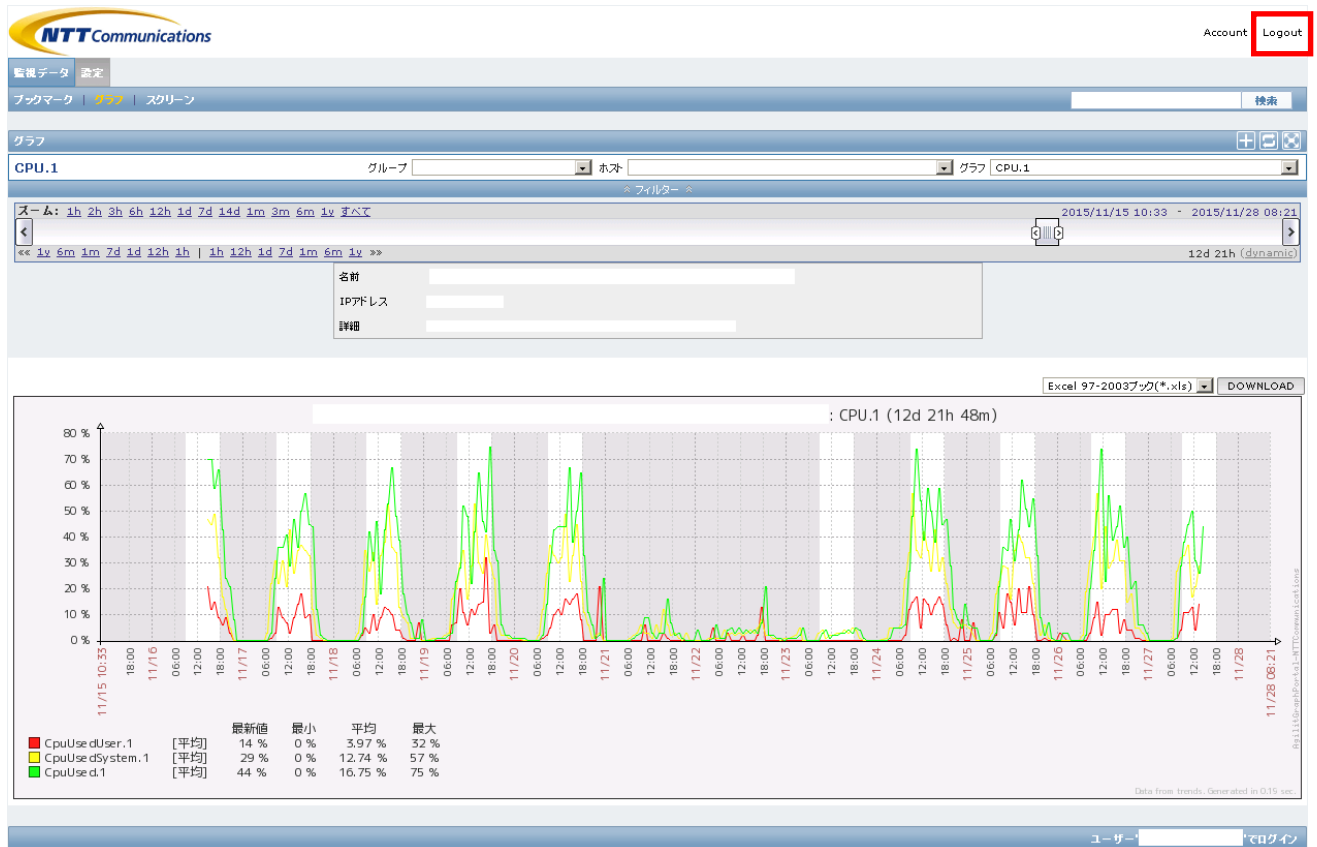
2. [Login] ボタンをクリックしてログインします。

2 回目以降のログインでは、前回のログアウト時に表示していた画面（グラフ、スクリーンなど）を表示します。

3.3 ログアウト

ログアウト方法は以下の通りです。

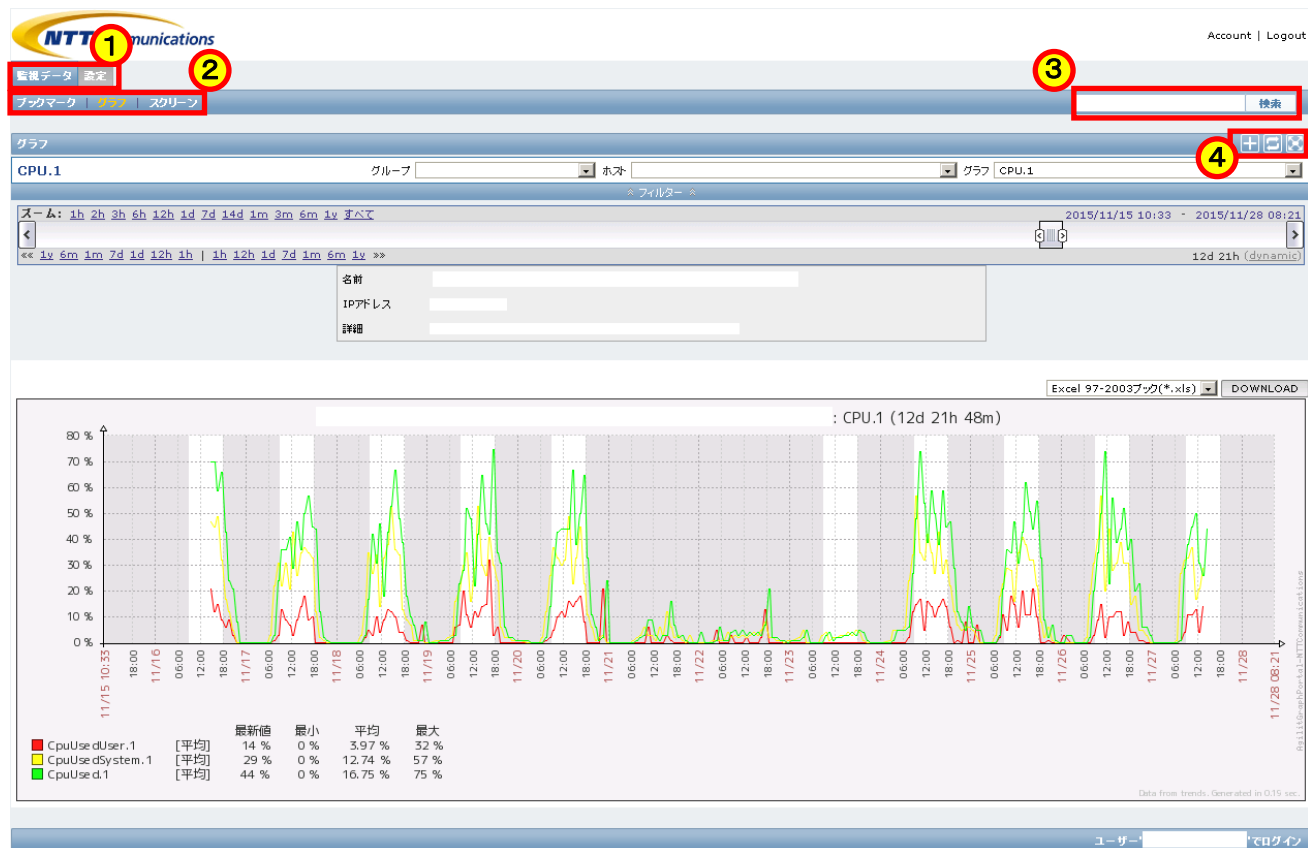
1. 各画面右上の [Logout] をクリックします。



2. ログアウト後は、パフォーマンスグラフのログイン画面に戻ります。

3.4 画面の見方

各画面の共通部分について説明します。



番号	名称	説明
①	メインメニュー	[監視データ] : グラフやスクリーンの閲覧に関するメニュー [設定] : スクリーンの設定に関するメニュー 次ページ「① メインメニュー」を参照
②	サブメニュー	[グラフ]、[スクリーン]、[ブックマーク]のサブメニュー 次ページ「②③ サブメニュー」を参照
③	検索ボックス	ホスト(グラフ)とスクリーンの検索 詳細は「8 検索」を参照
④	操作アイコン	便利な操作をアイコン化したもの 次ページ「④ 操作アイコン」を参照

パフォーマンスグラフ操作マニュアル

画面上部の 2 列のメニューからカテゴリを切り替えて操作します。1 列目のメインメニューにカーソルを合わせると、対応するサブメニューを動的に表示します。

① メインメニュー

メインメニューの項目

項目	説明
監視データ	パフォーマンスデータの閲覧
設定	スクリーンの作成、設定

② 監視データのサブメニュー

メインメニューで [監視データ] を選択した時に表示されるサブメニュー

項目	説明	
ブックマーク	ブックマークの登録	詳細は「7 ブックマーク設定」を参照
グラフ	グラフの閲覧	詳細は「4 グラフの表示」を参照
スクリーン	スクリーンの閲覧	詳細は「6 スクリーンの作成と表示」を参照

③ 設定のサブメニュー





メインメニューで [設定] を選択した時に表示されるサブメニュー

項目	説明	
スクリーン	スクリーンの作成	詳細は「6 スクリーンの作成と表示」を参照

④ 操作アイコン

特定の画面では、画面右上に、現在表示している画面で操作可能なアイコンを表示します。このアイコンをクリックすることで、1 部の操作を簡単に行うことができます。

操作アイコンの説明

操作アイコン	説明
 フルスクリーン	画面を全画面表示します。
 リセット	グラフの表示期間を「現在時刻から過去 1 時間分」に切り替えます。 ※表示期間がデフォルトに戻ります。
 ブックマークの追加	グラフやスクリーンをブックマークに登録します。
 ブックマークの削除	グラフやスクリーンをブックマークから削除します。

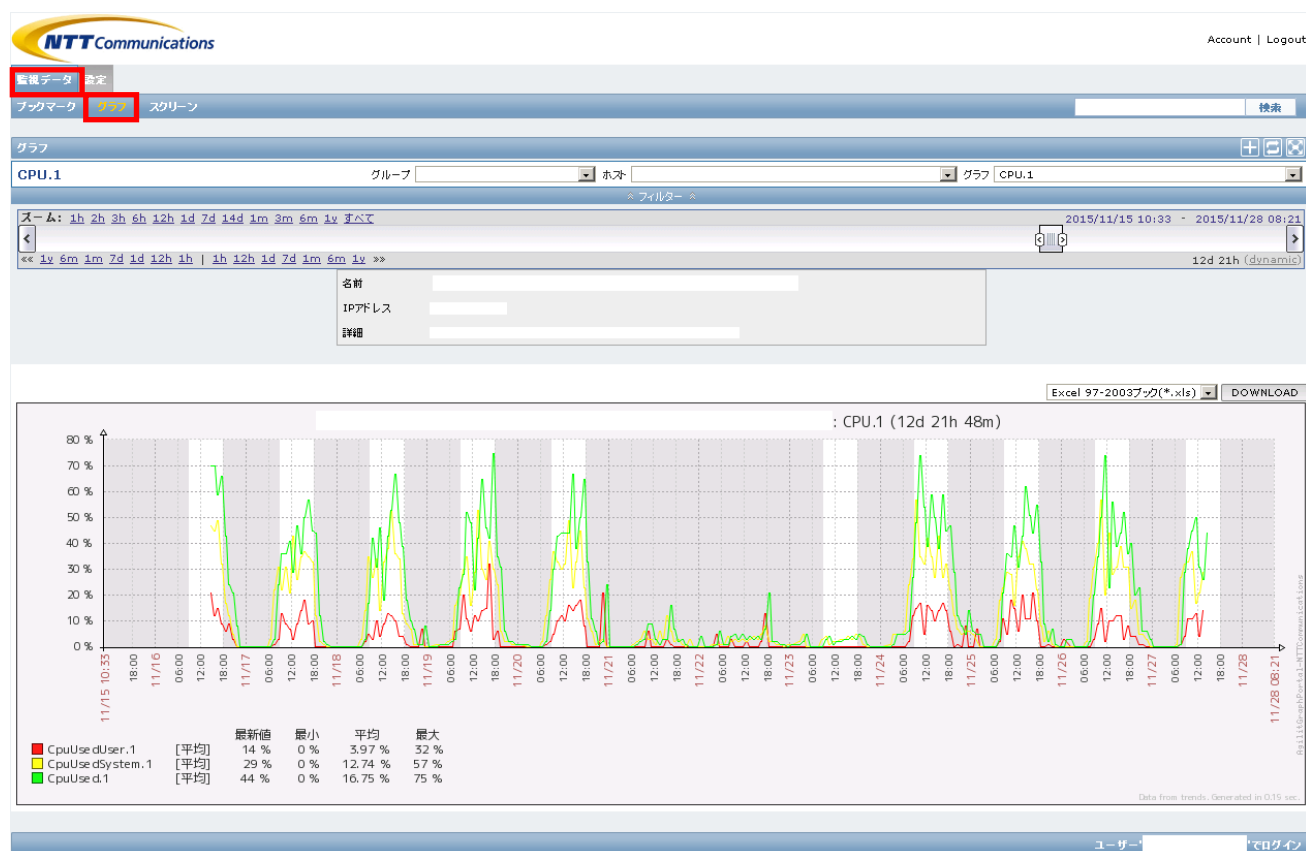
4 グラフの表示

4.1 概要

パフォーマンスグラフは、機器のパフォーマンスデータをグラフで表示します。

表示期間を指定してグラフを閲覧することが可能です。表示期間の最大は、history（5分間隔の生データ）が60日、trends（1時間ごとの平均値）が400日です。

グラフを閲覧するには、メニュータブで [監視データ]-[グラフ] をクリックします。

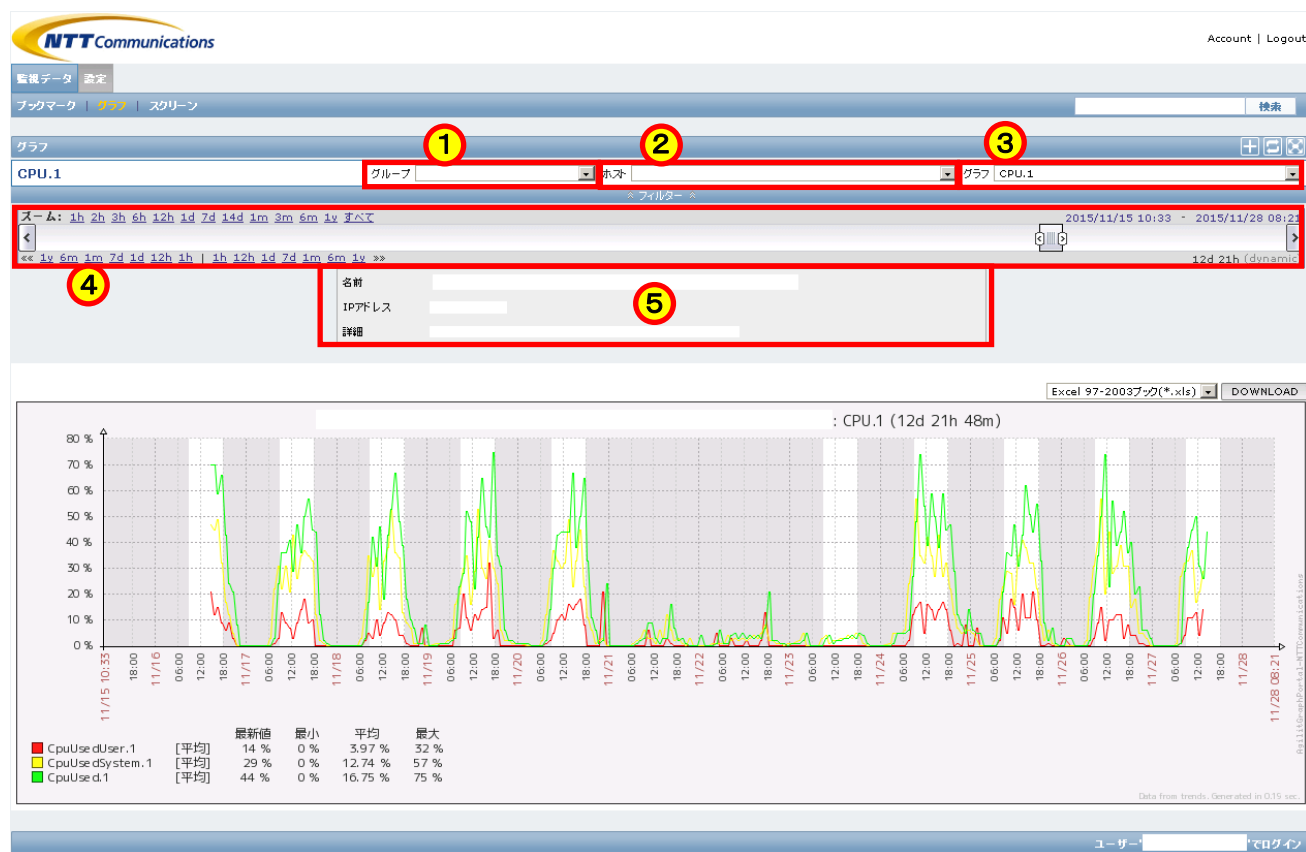


グラフ画面の機能は以下の通りです。

機能	説明	
ホスト情報表示	ホスト名、IP アドレス、ホストの詳細を表示	「4.2 グラフ表示」を参照
グラフ表示	ホストのグラフを表示	「4.2 グラフ表示」を参照
表示期間指定	グラフの表示期間を指定	「4.3 表示期間」を参照
自動更新	300 秒ごとにグラフ表示を自動更新	現在時刻で閲覧中の場合のみ
データ出力 (ダウンロード)	グラフデータを csv 形式で出力	「5 出力（ダウンロード）機能」を参照

4.2 グラフ表示

グループ選択プルダウン(①)、ホスト選択プルダウン(②)、グラフ選択プルダウン(③)の3つを指定することでグラフを表示します。グラフ選択プルダウン(③)で、一覧表示(すべてのグラフを表示)や、単体表示(1つのグラフを表示)に切り替えることができます。

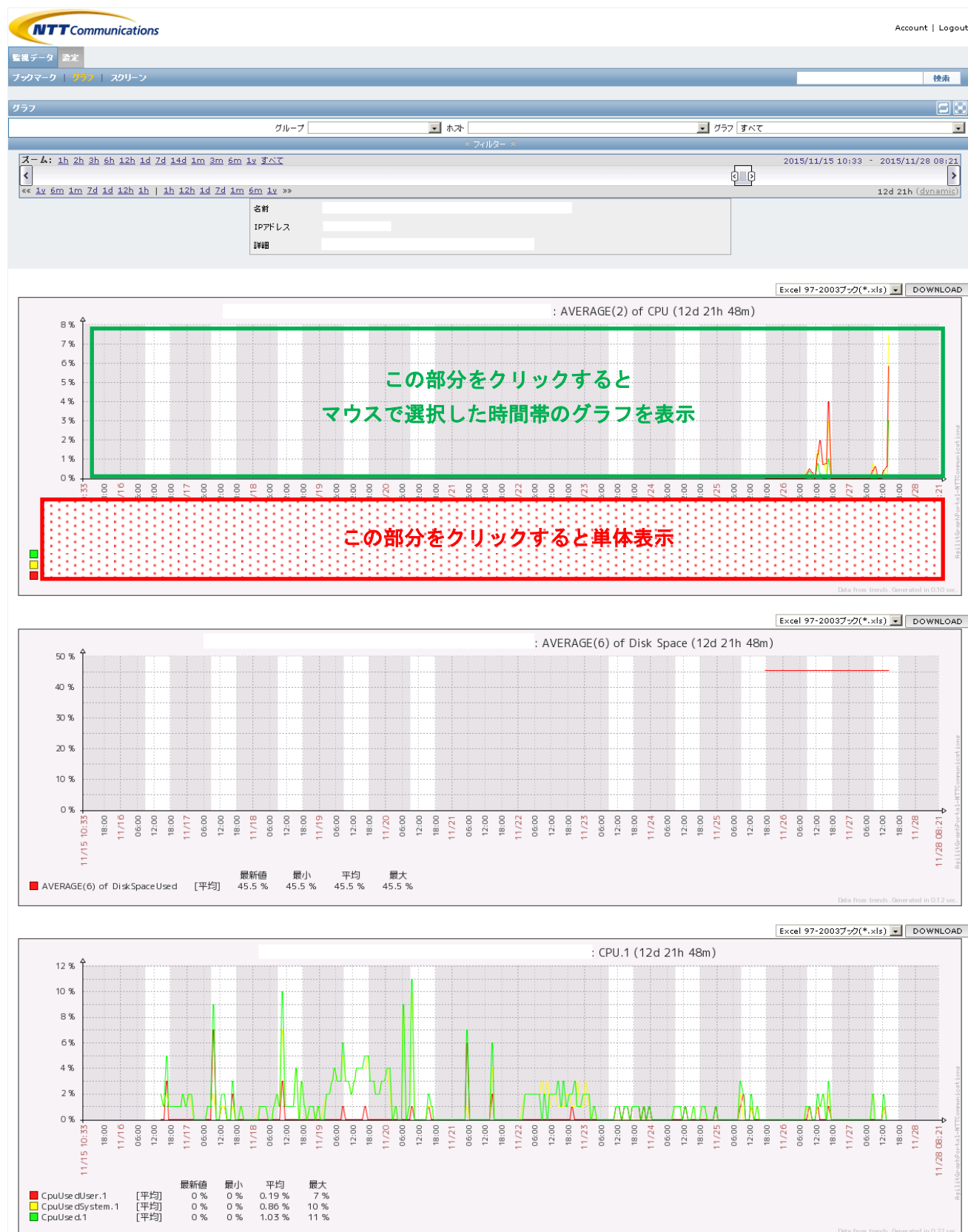


番号	名称	説明
①	グループ選択プルダウン	<p>■通常は、案件名と同じ名前のグループ(1つ)が選択可能になっています。このグループには、お申し込みをいただいたお客さまの機器を登録しています。</p> <p>■別途お申し込みにより「案件名_service」というグループを表示します。このグループには、弊社の基盤ネットワーク機器を登録しており、お客さまの通信経路機器に関連するグラフを公開しています。</p>
②	ホスト選択プルダウン	<p>■閲覧したいグラフをホスト名で選択します。</p>
③	グラフ選択プルダウン	<p>■「すべて」を選択するとホストの全グラフを一覧表示します。</p> <p>■「グラフ名」を選択すると特定項目(例えばCPU)のグラフを単体表示します。</p>
④	期間バー	<p>■カレンダー、ズーム、スクロールなどの複数の方法から、グラフの表示期間を変更する機能を提供します。操作方法は「4.3 表示期間」を参照</p>
⑤	ホスト情報表示	<p>■ご登録いただいたホスト名、IPアドレス、ホストの詳細を表示します。</p>

パフォーマンスグラフ操作マニュアル

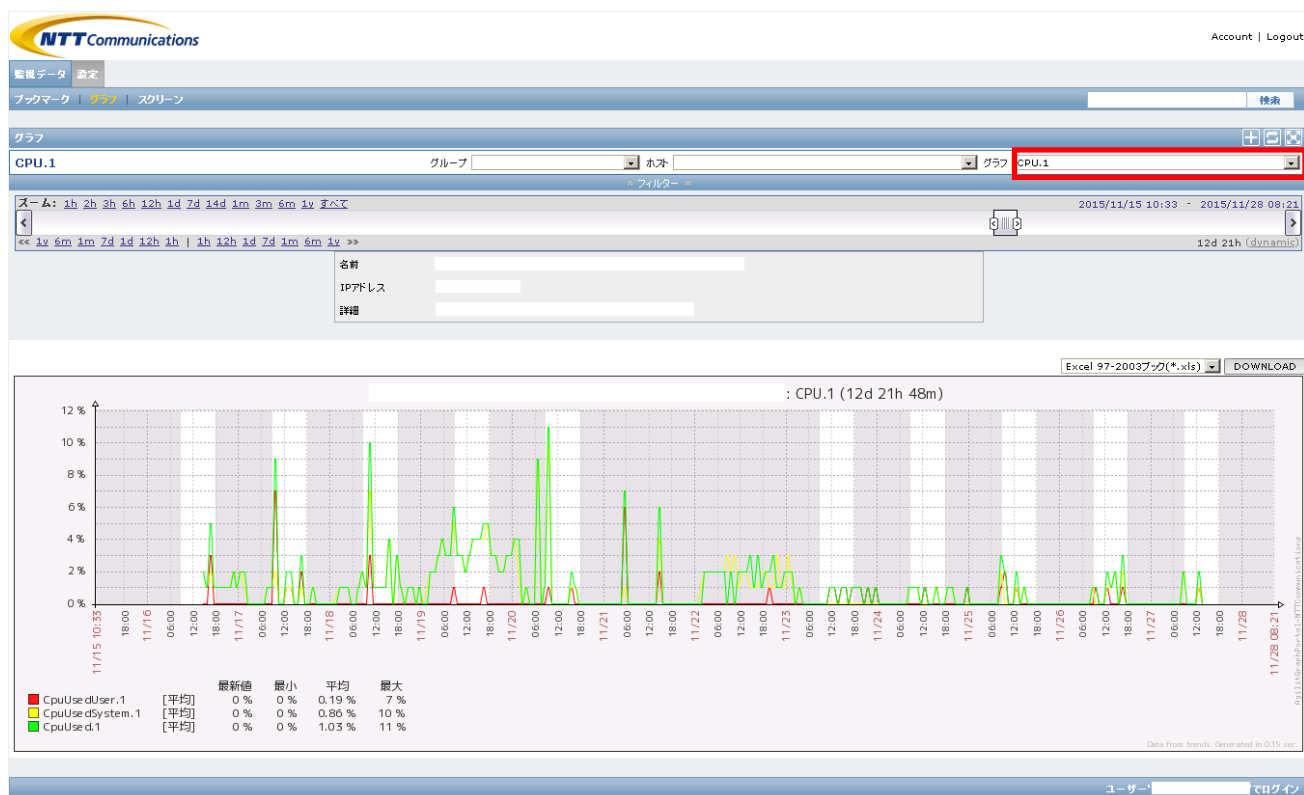
※以下のように複数のグラフを表示している画面で、1つのグラフだけを表示する「単体表示」に切り替えたい場合は、対象グラフの下部(赤四角部分)をクリックします。

※グラフ内部(緑四角部分)をクリックすると、マウスで選択した時間帯のグラフを表示します。



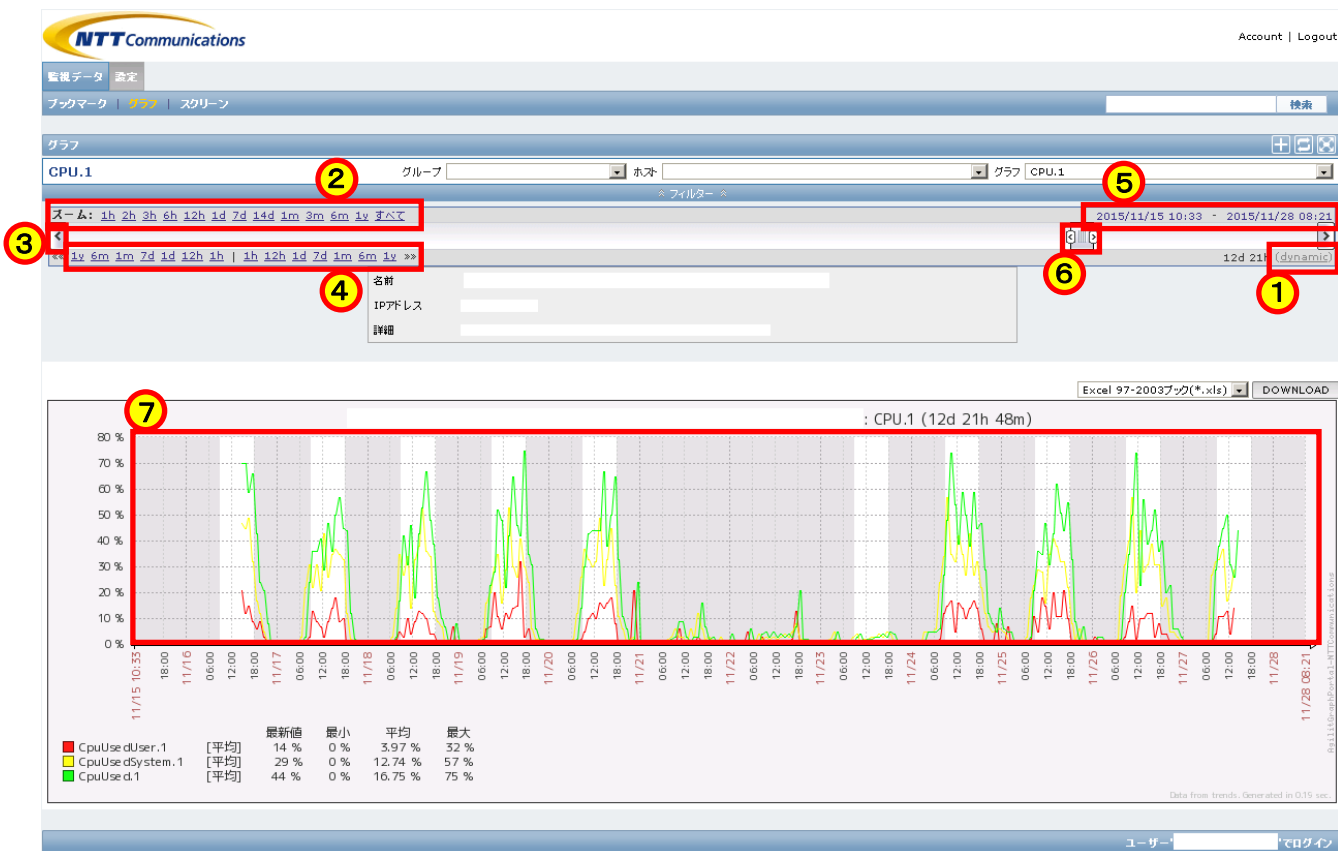
以下は、「単体表示」(1つのグラフだけを表示する画面)に切り替えた例です。

グラフ選択プルダウンの表示が「すべて」から「CPU.1」へ変更になったことが確認できます。



4.3 表示期間

①～⑦のいずれかの操作 または 組合せで、グラフの表示期間を指定することができます。



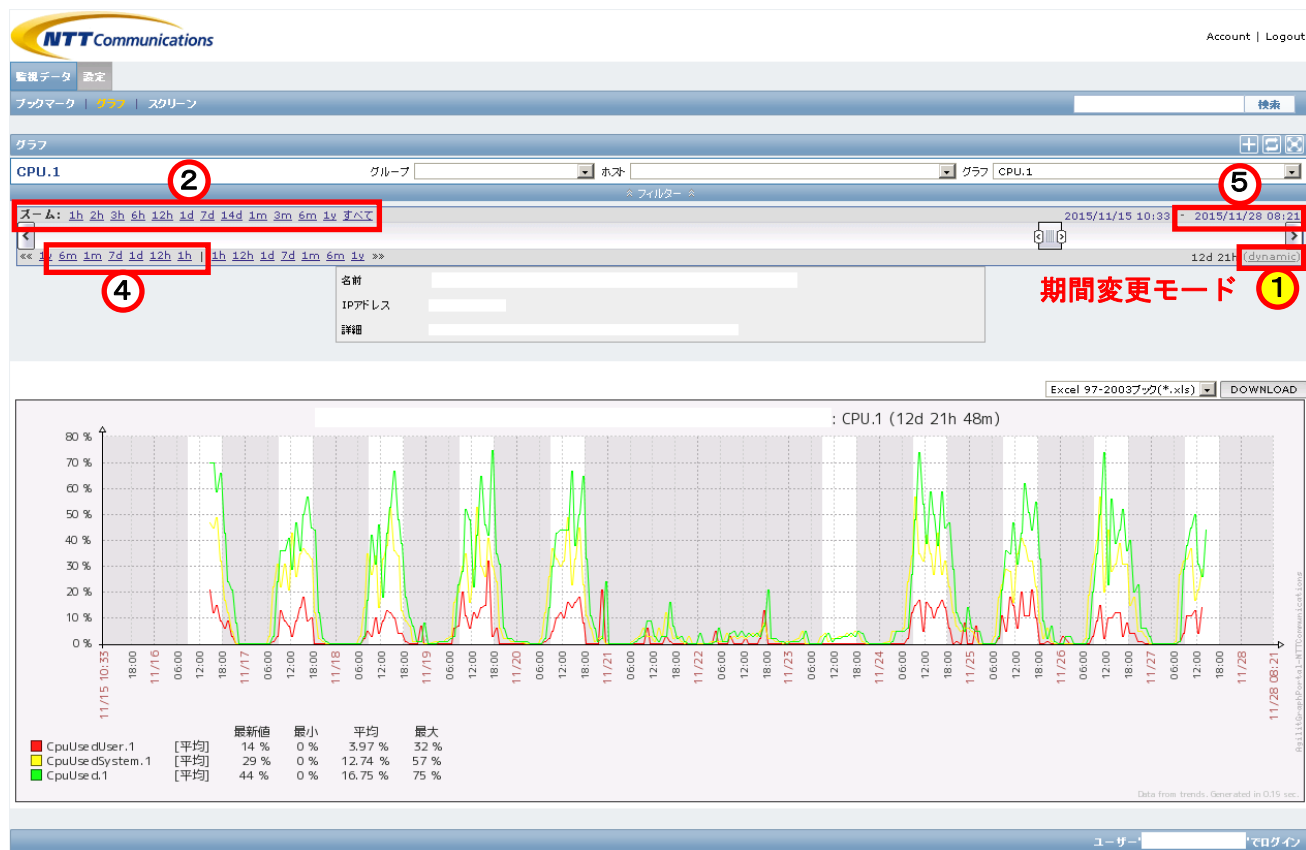
表示期間の変更方法を以下に説明します。

番号	表示期間の変更方法	説明
①	期間変更モード	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「dynamic モード」(デフォルト)、「fixed モード」の2種類があります。 ■ ①部分をクリックすることで、「dynamic モード」⇄「fixed モード」の切り替えを行います。詳細はP17 参照。
②	ズームによる表示期間変更	<ul style="list-style-type: none"> ■ ズームでグラフ横軸の時間幅を調整します。 ■ ⑤に表示された終了日時(右側の日時)を起点に、過去 1h、2h、3h、6h、12h、1d、7d、14d、1m、3m、6m、1y を表示する機能と、すべての期間(最大 400 日)を表示する機能を提供します。
③	1 日追加ボタンによる表示期間変更	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「② ズーム」で指定した時間幅に、③を1回クリックで1日分の期間を追加します。 ■ 「dynamic モード」の場合 「③ 左ボタン」をおすと1日分の過去時間を横軸に追加します。 「③ 右ボタン」をおすと1日分の未来時間を横軸に追加します。 例: 「② ズーム」で1hを指定し「③ 左ボタン」をおした場合、

		<p>横軸の時間幅が 1d 1h になります。</p> <p>⑤に表示された終了日時(右側の日時)が現在時刻の場合(未来時間がない場合)、「③ 右ボタン」をおしても 1 日分の過去時間が追加されます。</p> <p>■「fixed モード」の場合</p> <p>この機能は利用できません。「③ 右/左ボタン」をおしても 1 日分の追加は行われず、1 日分過去または 1 日分未来へ表示をスライドします。</p>
④	指定期間による 表示期間変更	<p>■「③ 1 日追加ボタン」と同様の操作を、1 日ではなく、 1h、2h、3h、6h、12h、1d、7d、14d、1m、6m、1y から指定できます。</p> <p>■上記の選択肢は、機器ごとのグラフデータ保持期間に合わせて適宜変更されます。(例：1 年前から利用している機器では選択肢に 1y が表示され、最近新設した機器では 1y が表示されません。)</p>
⑤	カレンダーによる 表示期間変更	<p>■カレンダーがポップアップされ、分単位の明示的な期間指定ができます。</p>
⑥	スクロール操作による 表示期間変更	<p>■⑥をスクロールと呼びます。</p> <p>スクロール操作によりグラフの表示期間を変更することができます。</p>
⑦	マウス選択による 表示期間変更	<p>■グラフ内部をマウスでドラッグすることで、選択した時間帯のグラフを表示することができます。</p>

① 期間変更モード

「① 期間変更モード」の文字をクリックすることで、「dynamic モード」⇔「fixed モード」の切り替えを行います。

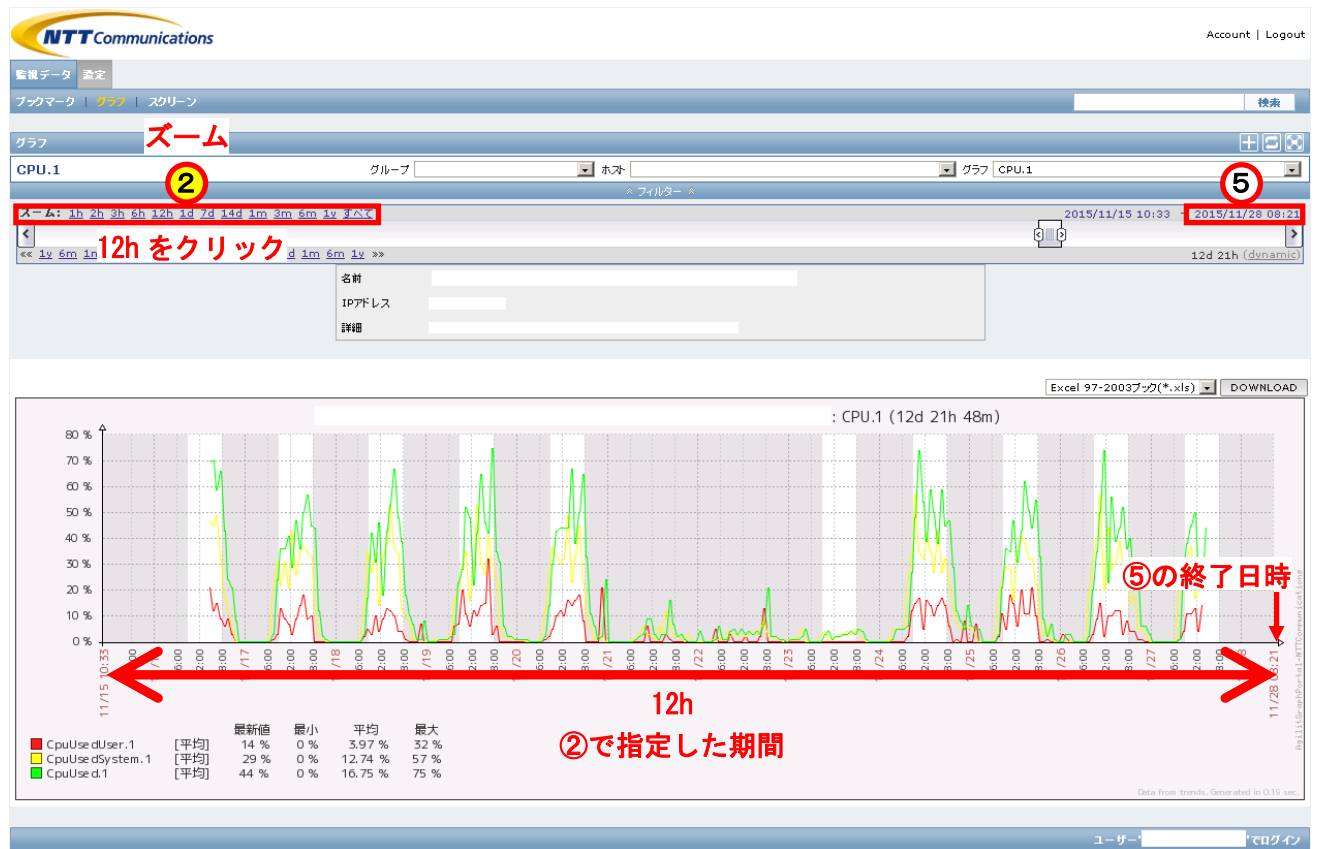


「① 期間変更モード」には、以下の 2 つがあります。

名称	説明	利用例
dynamic モード (デフォルト)	期間を固定しないモード	<p>■ 「② ズーム」で 1m を指定、「⑤ カレンダー」の終了日時(右側)が 2015/08/15、「④ 指定期間」で左側の 1m を指定した場合、グラフの表示期間(横軸)は、最初に表示した 1 カ月分に過去 1 カ月分を追加したものになります。</p> <p>変更前 : 2015/07/16 ~ 2015/08/15</p> <p>変更後 : 2015/06/16 ~ 2015/08/15</p>
fixed モード	期間を固定するモード	<p>■ 上記と同じ指定をした場合、グラフの表示期間(横軸)は、「② ズーム」で指定した 1m を固定したまま、過去に 1 カ月スライドします。</p> <p>変更前 : 2015/07/16 ~ 2015/08/15</p> <p>変更後 : 2015/06/16 ~ 2015/07/16</p>

② ズームによる表示期間変更

⑤に表示された終了日時(右側)を起点に、「② ズーム」でクリック指定した期間のグラフを表示します。



「② ズーム」で指定した表示期間は、図の矢印で示す横軸（グラフ時間幅）と同じになります。

②に表示される 1h、2h、3h、・・・などの期間は、機器ごとのグラフデータ保持期間に合わせて適宜変更されます。

③ 1日追加ボタンによる表示期間変更

「③ 1日追加ボタン」をクリックすることで、②で指定したグラフ時間幅(横軸)に、さらに1日分の期間を追加します。

・dynamic モードの場合(期間を固定しないモード)

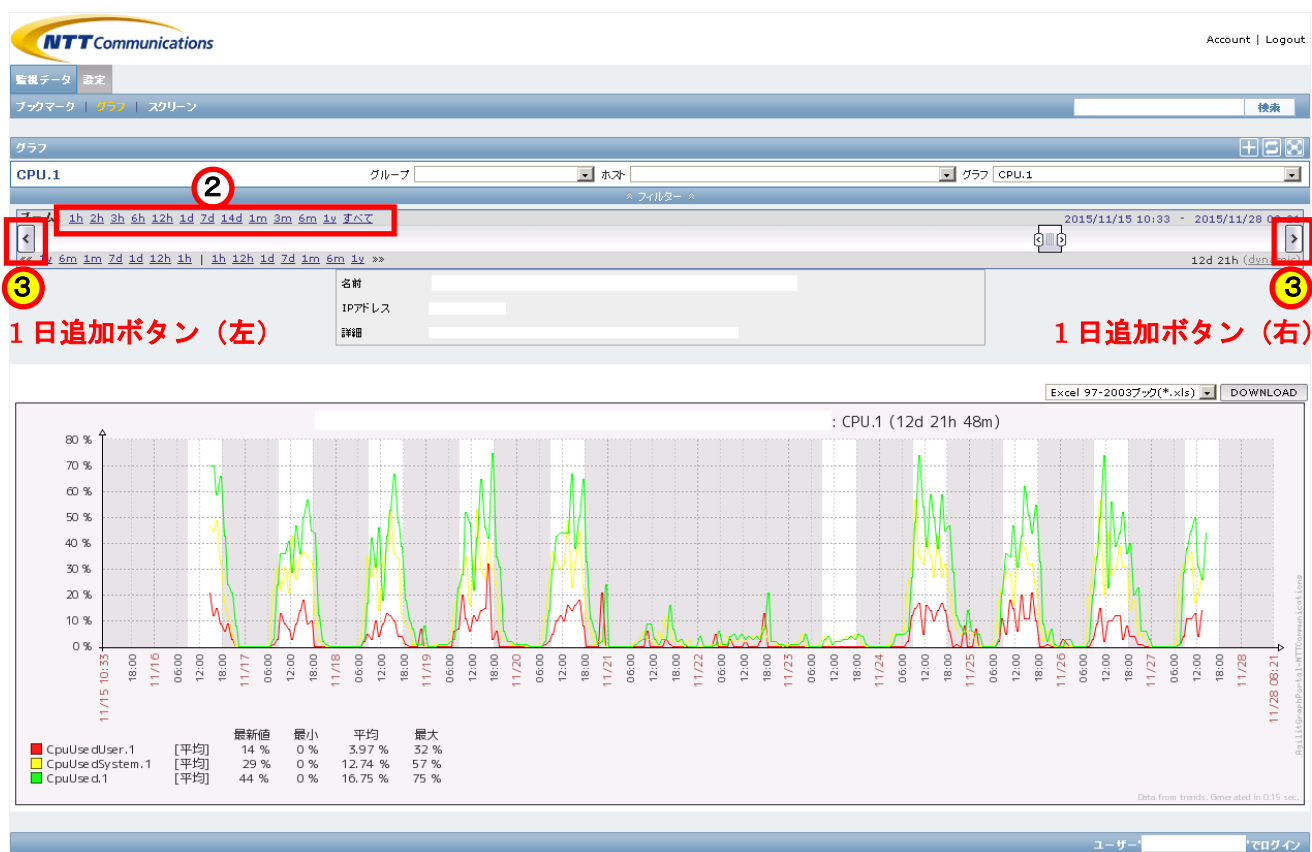
「③_左ボタン」: ②で指定した時間幅に、1日分の過去時間を追加

「③_右ボタン」: ②で指定した時間幅に、1日分の未来時間を追加

・fixed モードの場合(期間を固定するモード)

「③_左ボタン」: ②で指定した時間幅を、1日分過去へスライド

「③_右ボタン」: ②で指定した時間幅を、1日分未来へスライド



④ 指定期間による表示期間変更

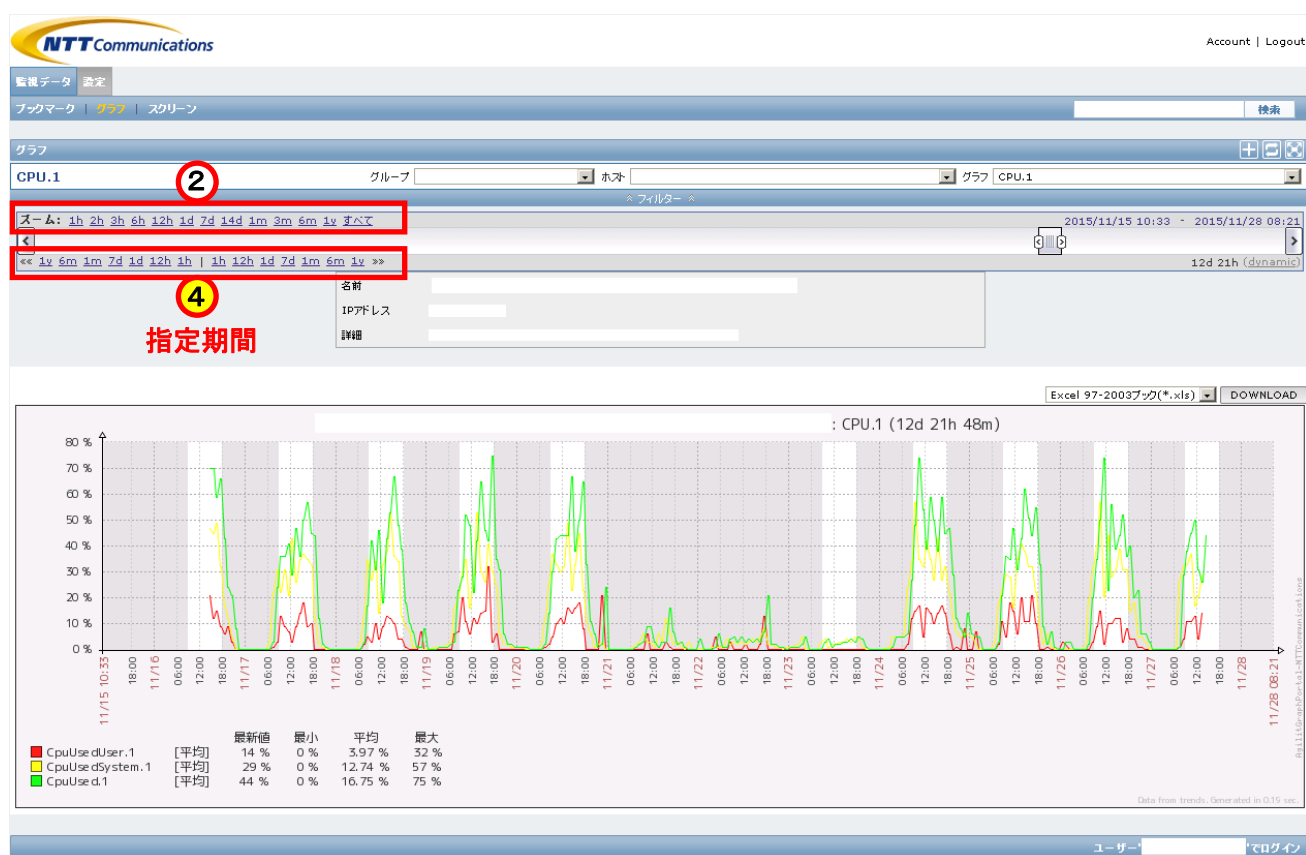
「④ 指定期間」をクリックすることで、②で指定した時間幅に、さらに④で指定した期間（1h、2h、3h、6h、12h、1d、7d、14d、1m、6m、1y のいずれか）を追加します。

・dynamic モードの場合（期間を固定しないモード）

②で指定した時間幅に、④で指定した期間分を追加

・fixed モードの場合（期間を固定するモード）

②で指定した時間幅を、④で指定した期間分スライド

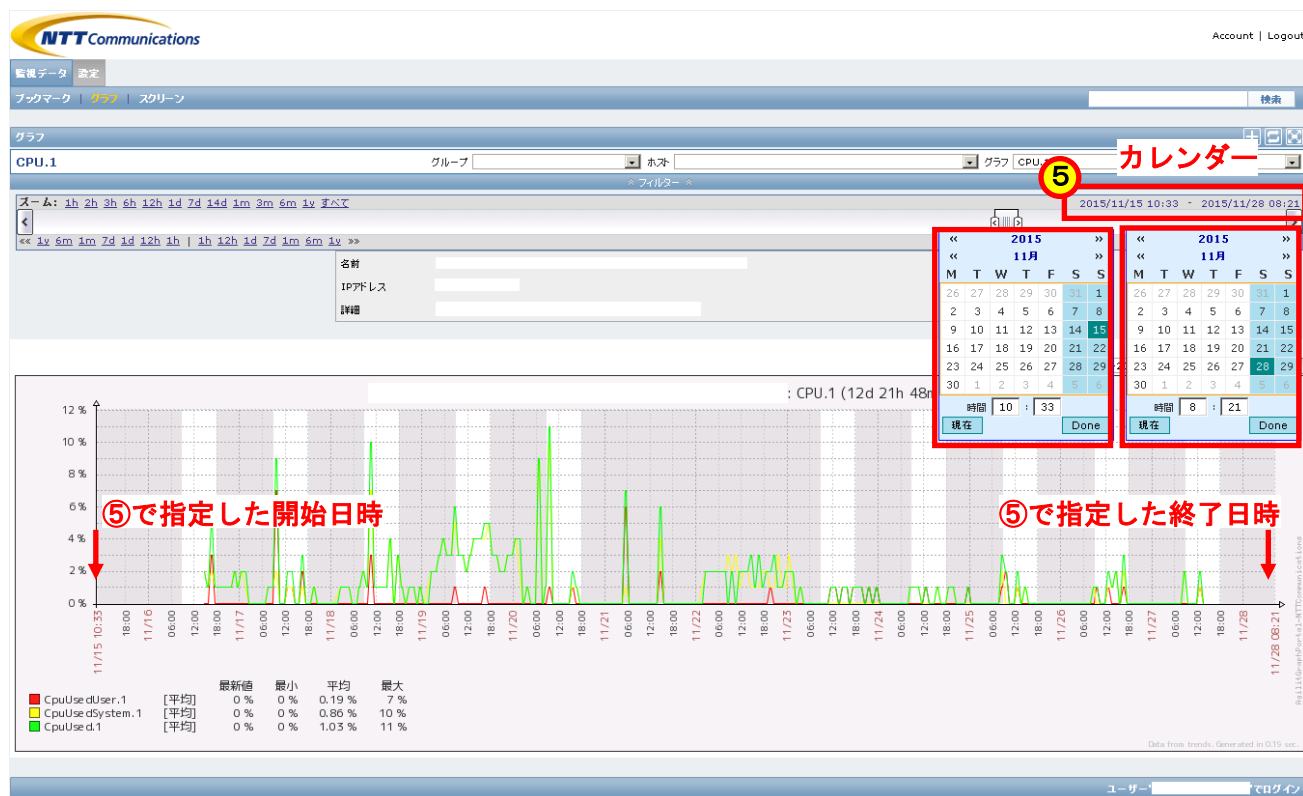


なお、④に表示される 1h、2h、3h、・・・などの期間は、機器ごとのグラフデータ保持期間に合わせて適宜変更されます。

⑤ カレンダーによる表示期間変更

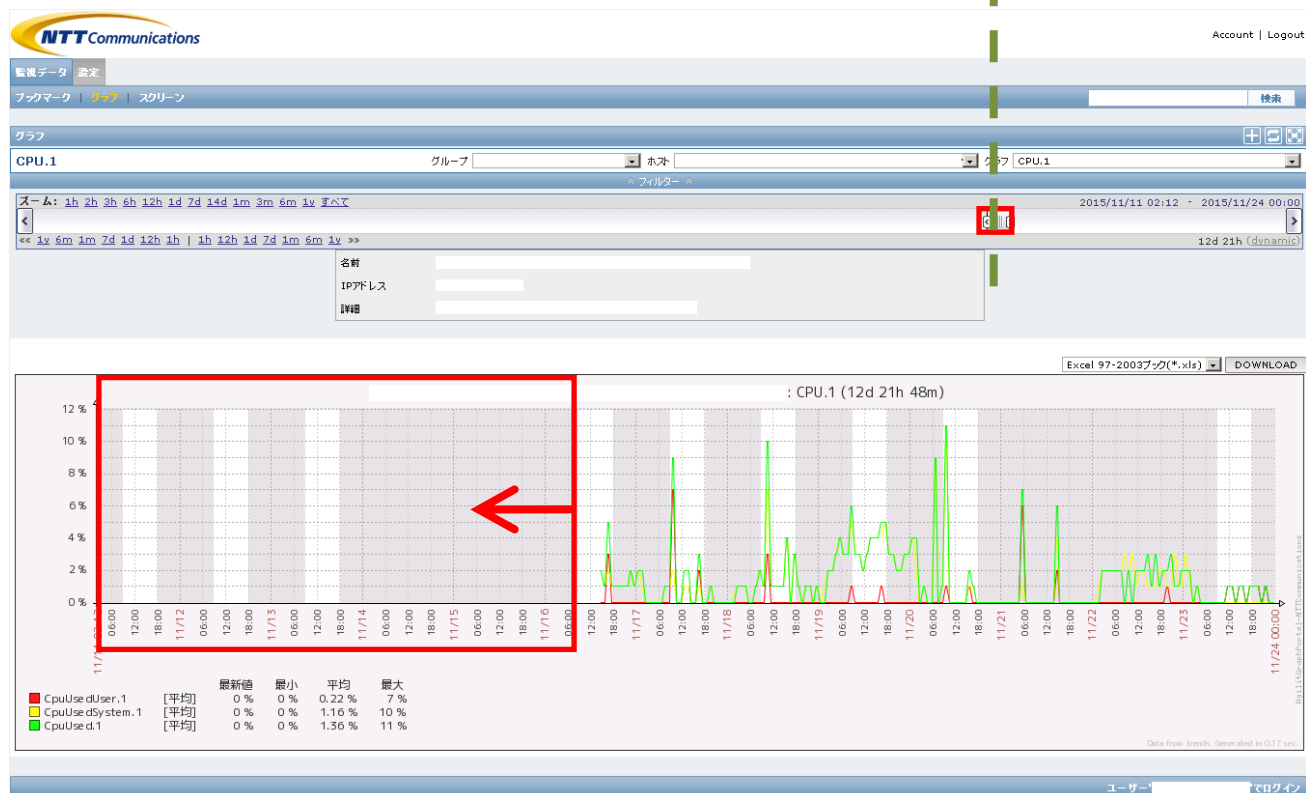
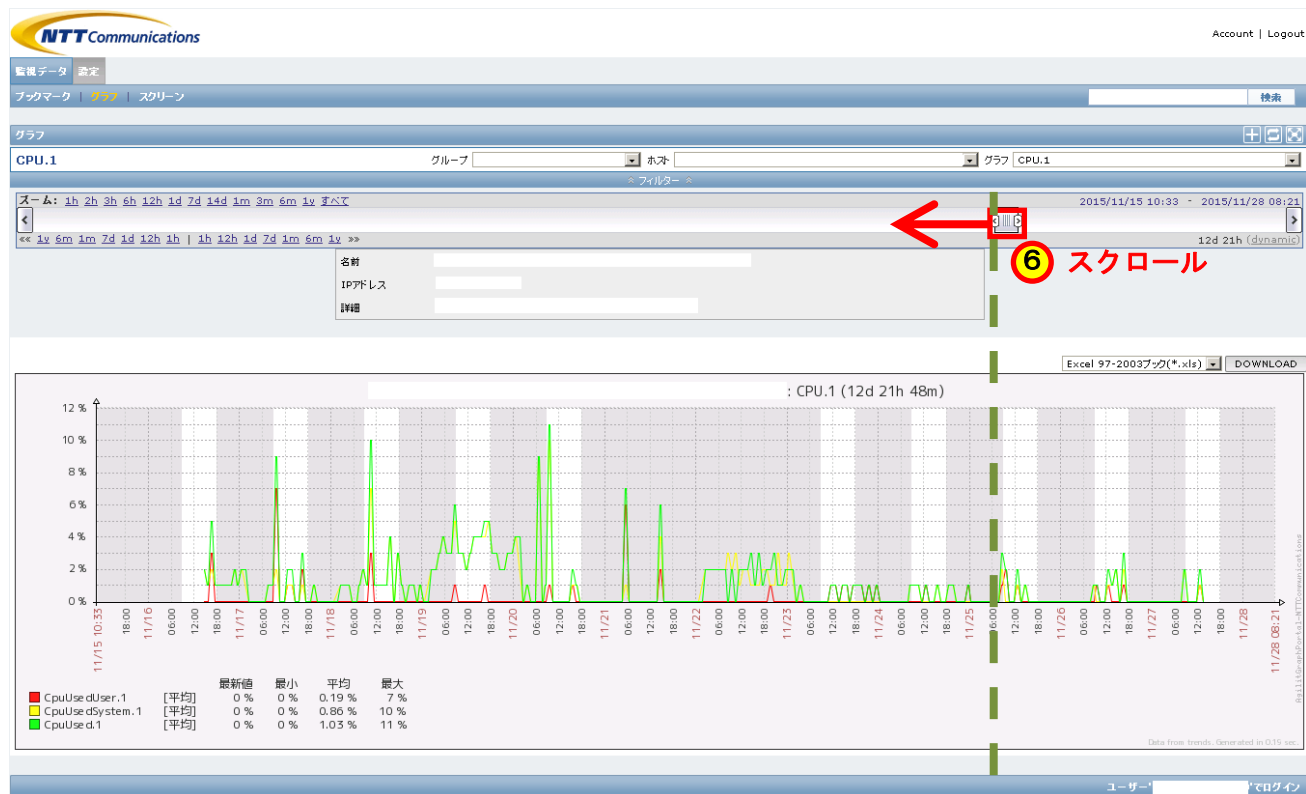
「⑤ カレンダー」の開始日時、終了日時をそれぞれクリックすることで、カレンダーがポップアップし、表示期間を分単位で指定することができます。

例えば、明示的に 2015/01/01 00:00 ~ 2015/01/31 23:59 を指定したい場合などに有効です。



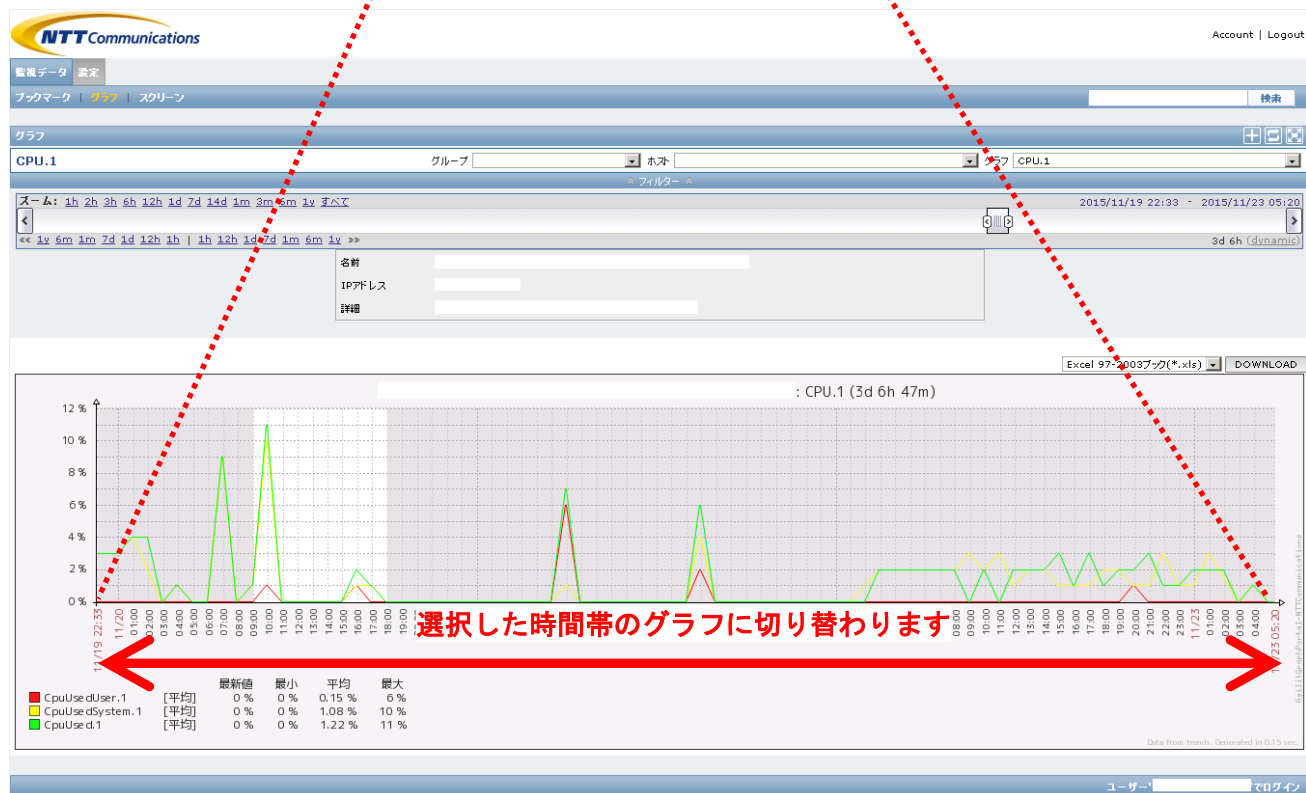
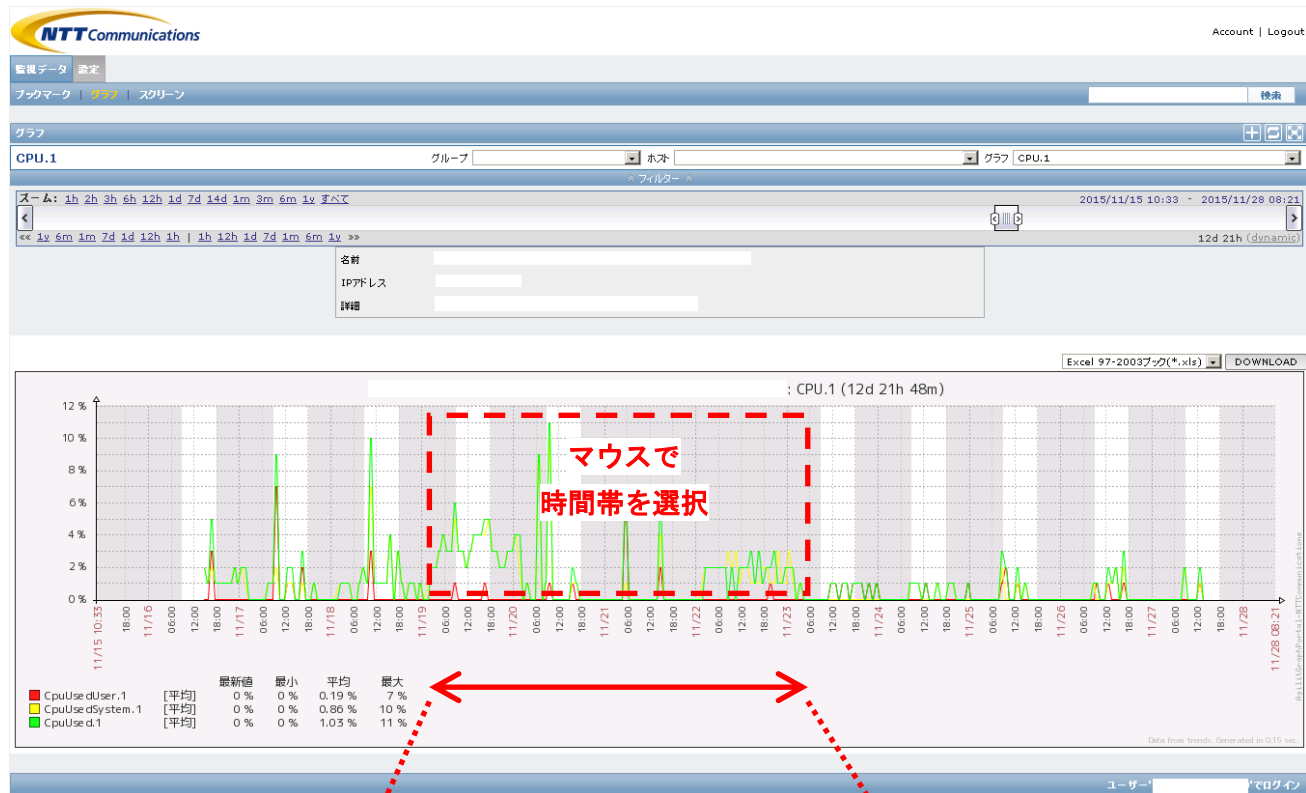
⑥ スクロール操作による表示期間変更

「⑥ スクロール」をスライドさせると、グラフの表示期間をスライドすることができます。



⑦ マウス選択による表示期間変更

グラフ内部をマウスでドラッグすると、選択した時間帯のグラフを表示することができます。
最小単位は1時間です。



5 出力（ダウンロード）機能

5.1 概要

グラフの右上の [DOWNLOAD] ボタンをクリックすることで、グラフデータをファイルに出力することができます。



番号	名称	説明
①	ファイル形式プルダウン	CSV 形式のデータ出力に対応しています。
②	DOWNLOAD ボタン	現在表示している期間のグラフデータを出力します。

5.2 出力形式

出力できるファイル形式は csv です。

形式	説明
CSV (*.csv)	値をカンマ「,」で区切ったテキストデータとして出力します。 ファイルの拡張子は .csv です。

5.3 出力期間

出力されるデータの対象期間は、現在表示しているグラフの期間と同じ になります。



現在表示しているグラフの期間

5.4 出力書式

出力データの書式を説明します。

以下は trends（1 時間平均値）で出力したデータの例です。trends については、次項「5.5 出力内容」を参照してください。

	① A	② B	③ C	D	E	F
1	unixtime	time	CpuUsedUser.1	unixtime	time	CpuUsedSystem.1
2	1493621112	2017/5/1 15:45	1	1493621112	2017/5/1 15:45	0
3	1493621412	2017/5/1 15:50	1	1493621412	2017/5/1 15:50	0
4	1493621712	2017/5/1 15:55	1	1493621712	2017/5/1 15:55	0
5	1493622012	2017/5/1 16:00	1	1493622012	2017/5/1 16:00	0
6	1493622312	2017/5/1 16:05	1	1493622312	2017/5/1 16:05	0
7	1493622612	2017/5/1 16:10	0	1493622612	2017/5/1 16:10	0
8	1493622912	2017/5/1 16:15	1	1493622912	2017/5/1 16:15	0
9	1493623212	2017/5/1 16:20	1	1493623212	2017/5/1 16:20	0
10	1493623512	2017/5/1 16:25	1	1493623512	2017/5/1 16:25	0

1 目のグラフデータ

(CPU.1 の CpuUsedUser)

2 目のグラフデータ

(CPU.1 の CpuUsedSystem)

番号	名称	説明
①	unixtime	協定世界時 1970 年 1 月 1 日からの経過秒数
②	time	現地時間 (JST) を YYYY/MM/DD hh:mm 形式で表示
③	パフォーマンスデータ	パフォーマンスデータの取得値

・ポーリング間隔と出力データについて

パフォーマンスグラフのポーリング間隔（データ取得間隔）は **5 分** です。ただし、**前回取得した時刻から 5 分後** に次のポーリングを行います。何らかの理由でポーリングが行えなかった場合、その期間の time とグラフデータは出力されず、再開したタイミングから出力します。

5.5 出力内容

出力する期間に応じて、下記のいずれかのデータが出力されます。

名称	説明	保持期間
history データ	5 分毎のパフォーマンス値の生データ	60 日間
trends データ	history データをもとに、00 分を起点として 1 時間ごとの平均値に計算されたデータ	400 日間

現在表示しているグラフの期間と、出力データの出力期間は同じ になります。

history データ（5 分ごとの生データ）を出力する場合は、表示しているグラフの期間を、現在日時より 60 日以内に指定し、 [DOWNLOAD] ボタンをおしてください。



現在表示しているグラフの期間を 60 日以内 に指定すると、
history（5 分ごとの生データ）を出力できます。

61 日より過去の期間がグラフの表示範囲に入っている場合、すべての値を trends データ（1 時間ごとの平均値）で出力します。

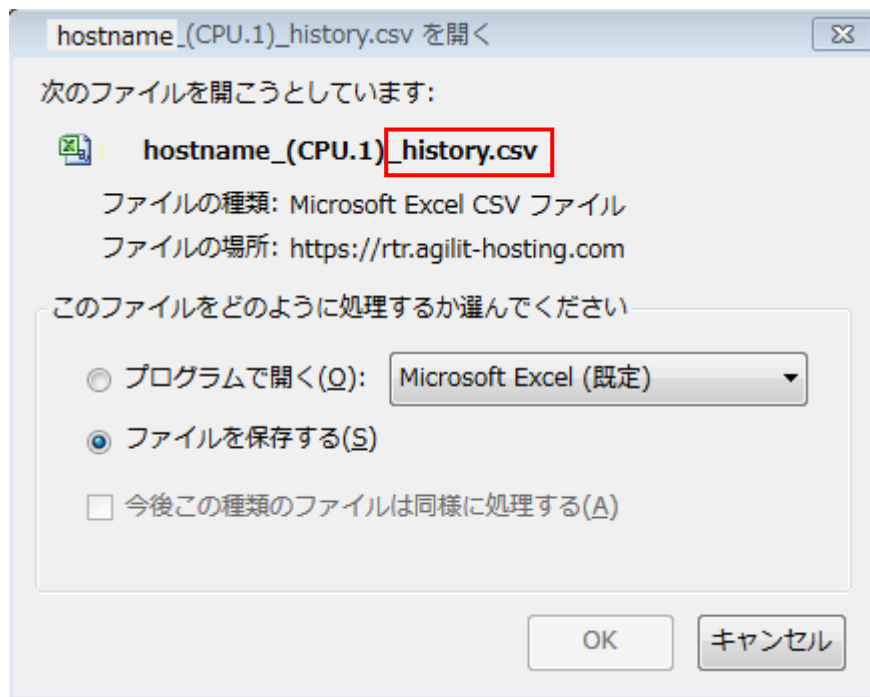
パフォーマンスグラフ操作マニュアル

出力ファイルのファイル名とシート名で、history データ（5 分ごとの生データ）／trends データ（1 時間ごとの平均値）のどちらを出力したかを確認できます。

<< history データの出力例 >>

- ・ファイル名の最後に _history が入ります。

出力ファイル名の例： ホスト名_(CPU.1)_history.csv



- ・Excel で出力ファイルを表示したときに、シート名に _history が入ります。

シート名の例： ホスト名_(CPU.1)_history

	A	B	C
1	unixtime	time	CpuUsedUser.1
2	1493621112	2017/5/1 15:45	1
3	1493621412	2017/5/1 15:50	1
4	1493621712	2017/5/1 15:55	1
5	1493622012	2017/5/1 16:00	1
6	1493622312	2017/5/1 16:05	1
7	1493622612	2017/5/1 16:10	0
8	1493622912	2017/5/1 16:15	1
9	1493623212	2017/5/1 16:20	1
10	1493623512	2017/5/1 16:25	1
11	1493623812	2017/5/1 16:30	0
12	1493624112	2017/5/1 16:35	2

ホスト名_(CPU.1)_history

6 スクリーンの作成と表示

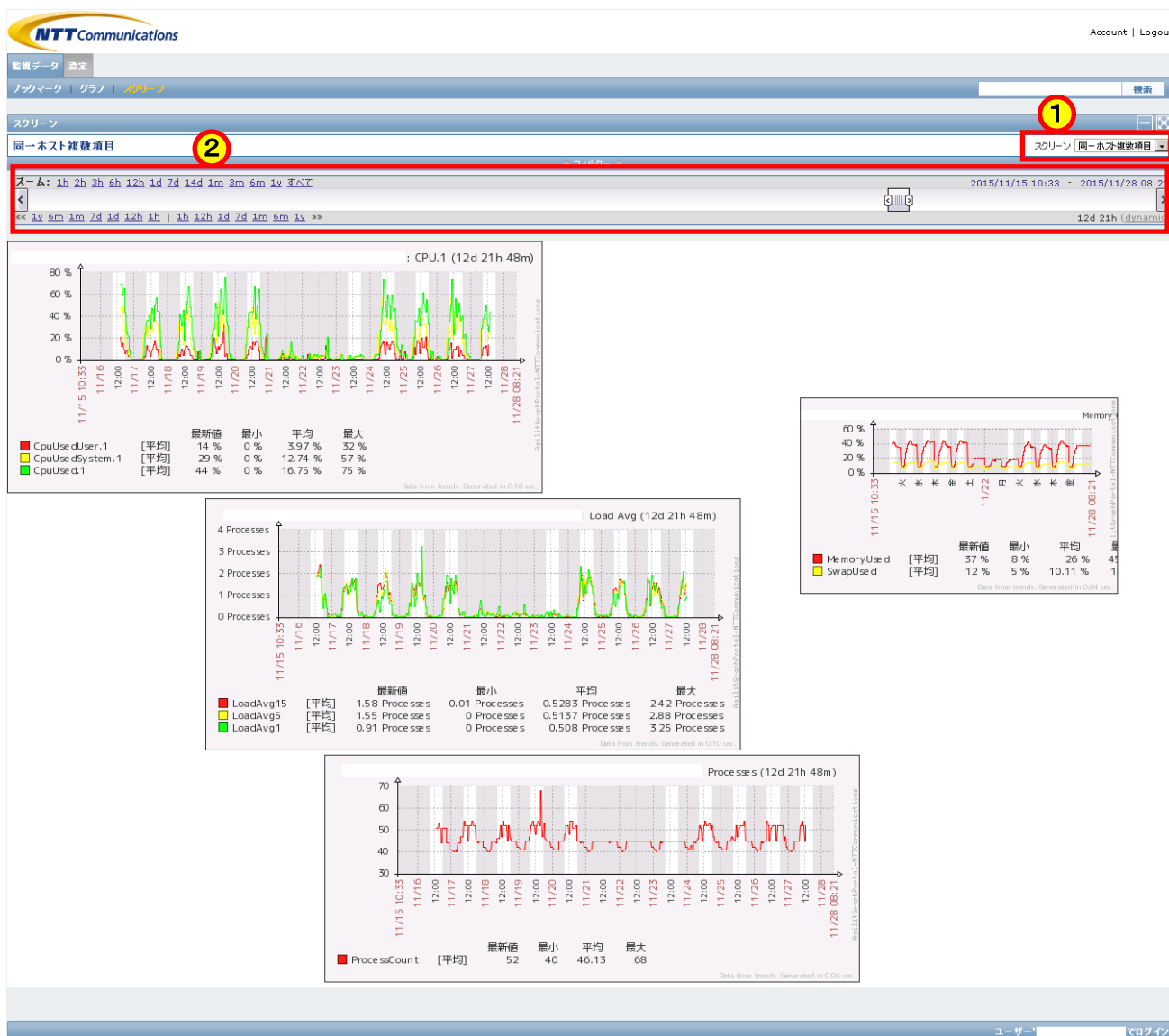
6.1 概要

任意の複数のグラフを 1 画面にお好みのレイアウトで表示する機能をスクリーンといいます。
パフォーマンスグラフでは、スクリーンを作成・表示することができます。

<スクリーンの利用例>

- ・ CPU、Memory、HDD 使用容量の各グラフを並列して表示することで、当該ホストの状態を 1 画面に閲覧できるようにします。
- ・ 複数のホストの CPU グラフを並列して表示することで、各ホストの CPU の状態を 1 画面に閲覧できるようにします。

以下はスクリーンの例です。複数のホスト、お好みの配置でグラフを表示することができます。



番号	名称	説明
①	スクリーン選択プルダウン	作成済みのスクリーンをプルダウンから選択します。
②	期間バー	各グラフが表示する期間を指定します。 期間バーの操作は、スクリーン内のすべてのグラフに適用されます。

6.2 スクリーン作成

スクリーンを作成するには、メニュータブで [設定]-[スクリーン] をクリックします。



6.2.1 スクリーン一覧

作成済みのスクリーン一覧を表示します。この画面からスクリーンの新規作成、編集、削除が行えます。



番号	名称	説明
①	スクリーン作成	スクリーンを新規作成します。「6.2.2 スクリーン設定」を参照
②	変更 (スクリーン編集)	[変更] から既存のスクリーンの設定編集を行います。 スクリーン名、列数、行数の変更が可能です。
③	グラフ配置	スクリーン内に表示するグラフ(任意のホスト、任意の表示項目)を設定できます。
④	削除	チェックボックスで指定したスクリーンを削除します。

6.2.2 スクリーン設定

スクリーンを新規作成するには、画面右上の「スクリーンの作成」ボタンをクリックします。
既存のスクリーンを編集するには、対象スクリーンの「変更」をクリックします。

The screenshot shows the 'Screen Management' interface. At the top right, there is a link for 'Account | Logout'. Below the navigation bar, the 'Screen Management' section is active. It displays a table of existing screens:

名前	大きさ (列 x 行)	スクリーン
sample	5 x 11	変更
test	2 x 3	変更

The '変更' (Edit) button for the 'test' screen is highlighted with a red box. Additionally, the 'スクリーンの作成' (Create Screen) button in the top right corner of the section is also highlighted with a red box.

スクリーンの設定では、スクリーン名とグラフを配置する列数・行数を設定します。

The screenshot shows the 'Screen Settings' form. It contains the following fields:

- ① 名前 (Name): A text input field.
- ② 列 (Columns): A numeric input field with a value of 1.
- ③ 行 (Rows): A numeric input field with a value of 1.

At the bottom of the form, there are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). The '保存' button is highlighted with a red box.

番号	項目	内容
①	名前	スクリーン名を設定します。
②	列	スクリーンで横に配置できるグラフの最大数を設定します。
③	行	スクリーンで縦に配置できるグラフの最大数を設定します。

スクリーンの変更を行う場合、「① 名前」の欄には既存のスクリーン名が表示されます。
修正後、「保存」ボタンをおすとスクリーン名が変更されます。

なお、スクリーンの作成上限数は 100 個です。

[保存] ボタンをクリックした際に「スクリーン “XXX” はすでに存在します。」エラー が表示される場合は、他のお客さまが作成したスクリーン名と名前が重複しています。
お手数ですが別のスクリーン名に変更をお願いします。



The screenshot shows the NTT Communications web interface. At the top, there is a header with the NTT Communications logo and 'Account | Logout'. Below the header, there is a navigation bar with '監視データ' and '設定'. A search bar is present on the right. The main content area has a red banner with the message 'エラー: スクリーンを追加できません' (Error: Cannot add screen). Below this, a message states '● スクリーン "test" はすでに存在します。' (Screen "test" already exists). The 'スクリーンの設定' (Screen Settings) section shows a table with one row. The table has columns for '名前' (Name), '列' (Column), and '行' (Row). The '名前' column contains 'test', '列' contains '1', and '行' contains '1'. At the bottom of the table, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The footer shows 'ユーザー' (User) and 'ログアウト' (Logout).

6.2.3 グラフの配置

スクリーンにグラフを配置する方法を、以下の例で説明します。

メニュータブで [設定]-[スクリーン] をクリックし、[スクリーンの作成] ボタンから新規に「同一ホスト複数項目」という名前のスクリーンを作成します。

- ・ 名前 : 同一ホスト複数項目
- ・ 列 : 2
- ・ 行 : 3

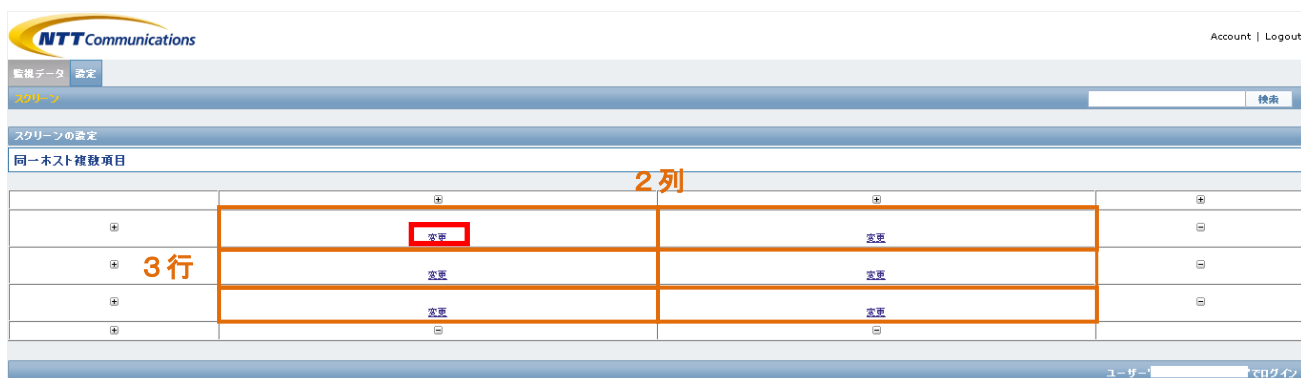
※1つのスクリーンに配置できるグラフの上限数は50個です。

このスクリーンにグラフを配置するには、対象のスクリーン名をクリックします。



名前	大きさ (列 x 行)	スクリーン
sample	5 x 11	変更
test	2 x 3	変更
同一ホスト複数項目	2 x 3	変更

グラフを配置したいセルの [変更] をクリックします。



同一ホスト複数項目	
2 列	変更
3 行	変更
	変更
	変更
	変更

パフォーマンスグラフ操作マニュアル

選択したセルにグラフを指定します。

番号	項目	内容
①	リソース	「グラフ」を選択します。
②	グラフ名	[選択]ボタンをクリックし、グラフを選択します。
③	幅	表示するグラフの幅をピクセル数で設定します。
④	高さ	表示するグラフの高さをピクセル数で設定します。
⑤	横配置	セル内のグラフ配置位置（左揃え・中央揃え・右揃え）を設定します。
⑥	縦配置	セル内のグラフ配置位置（上揃え・中央揃え・下揃え）を設定します。
⑦	列の結合	現在の位置を基準として、結合するセルの列数・行数を指定します。 〈例〉 列:2、行:1 と指定した場合、現在の位置の右側セルと結合します。
⑧	行の結合	現在の位置を基準として、結合するセルの列数・行数を指定します。 〈例〉 列:1、行:2 と指定した場合、現在の位置の下側セルと結合します。

項目	内容
A [+]ボタン	左に1列追加します。
B [+]ボタン	上に1行追加します。
C [+]ボタン	一番下に1行追加します。
D [+]ボタン	一番右に1列追加します。
E [-]ボタン	この行を削除します。
F [-]ボタン	この列を削除します。

6.2.4 グラフの配置例

以下は、2 列×3 行のセルに、同じホストの 4 項目のグラフを配置する例です。

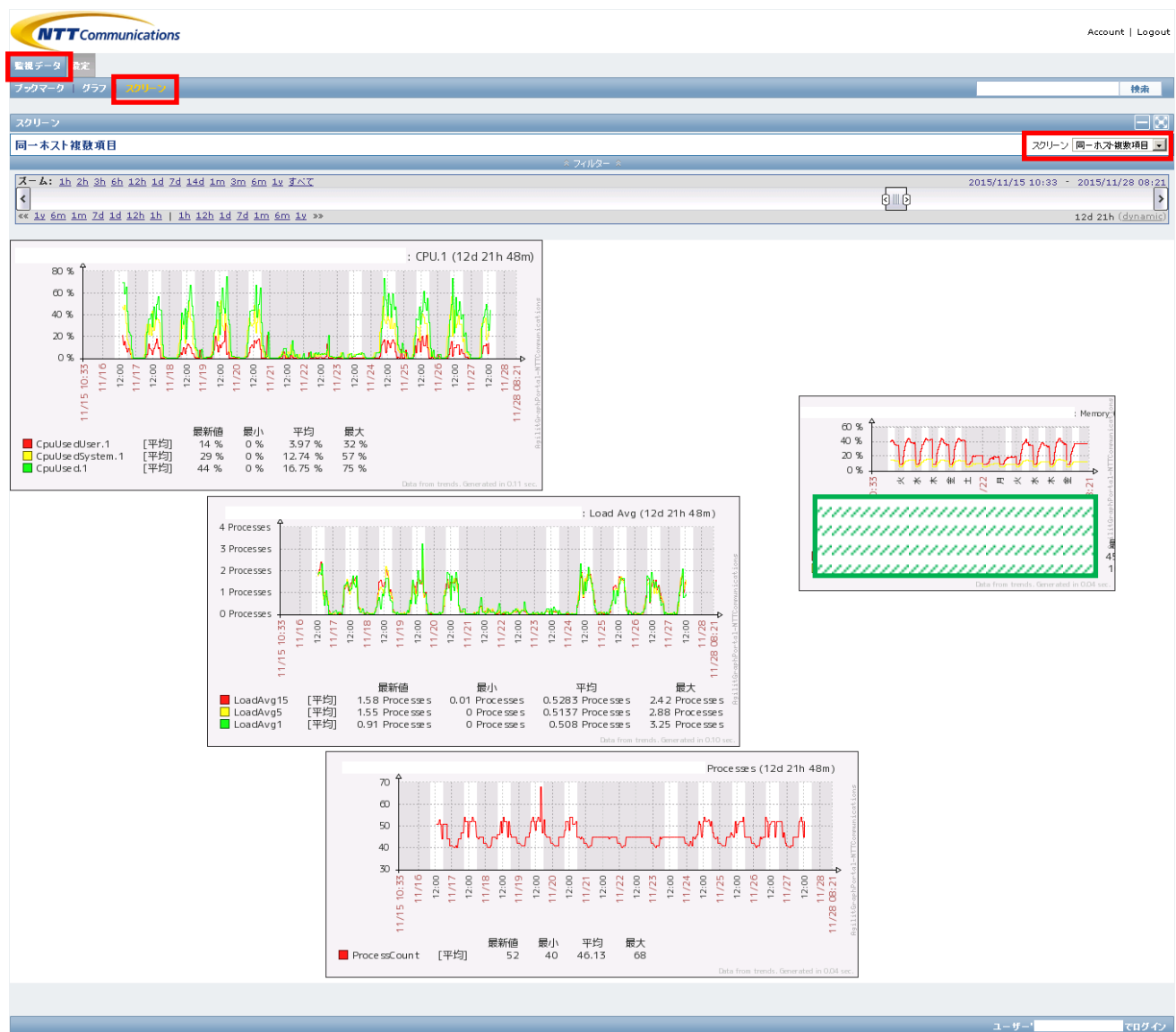
番号	項目	幅×高さ	位置（横×縦）	列×行
①	CPU	500×100	左×下	1×1
②	Load Avg	500×100	右×上	1×1
③	Memory	250×50	中央×中央	1×2
④	Processes	500×100	中央×中央	2×1



6.3 スクリーン表示

スクリーンを表示するには、メニュータブで [監視データ]-[スクリーン] をクリックし、右側のスクリーンプルダウンからスクリーン名を選択します。

「4 グラフの表示」と同じ操作で、表示期間を任意に変更することができます。この操作は、現在表示しているスクリーン内のすべてのグラフに適用されます。



スクリーン内のグラフを単体表示するには、対象グラフの下部(緑四角部分)をクリックします。

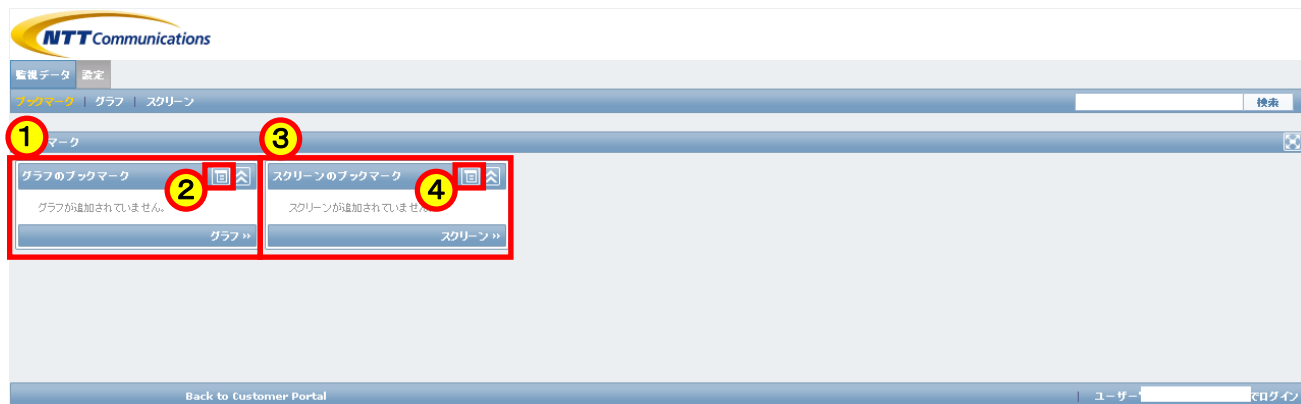
7 ブックマーク設定

7.1 概要

頻繁に閲覧するグラフやスクリーンをブックマークに登録することができます。

ブックマーク画面に表示されたグラフやスクリーンは、ワンクリックで表示が行えます。

ブックマーク設定を行うには、メニュータブで [監視データ]-[ブックマーク] をクリックします。




各項目の説明は以下の通りです。

番号	名称	説明
①	グラフのブックマーク	ブックマークに登録したグラフ一覧を表示
②	グラフ用ブックマークのメニューボタン	ブックマークの登録・削除を行うメニュー
③	スクリーンのブックマーク	ブックマークに登録したスクリーン一覧を表示
④	スクリーン用ブックマークのメニューボタン	ブックマークの登録・削除を行うメニュー

7.2 ブックマークの登録


ブックマークの登録方法は2種類あります。

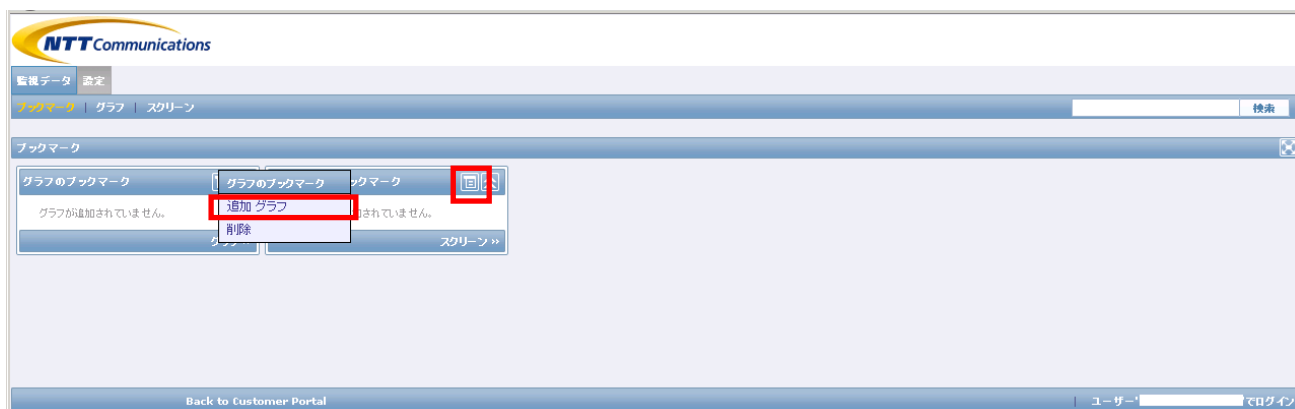
- ・ブックマークのメニューから対象を選択して登録する方法
- ・対象を表示してから操作アイコンで登録する方法

なお、ブックマークの登録上限数は100個です。

7.2.1 ブックマークのメニューからグラフを登録

メニュータブで [監視データ]-[ブックマーク] をクリックします。

[グラフのブックマーク] の  をクリックし、プルダウンから [追加 グラフ] を選択すると、グラフ選択のポップアップが開きます。



グループ選択プルダウンとホスト選択プルダウンでホストを絞り込み、ブックマークに登録したいグラフにチェックを入れ、[選択]ボタンをおします。

グラフ	グループ	ホスト
<input type="checkbox"/> 説明		
<input type="checkbox"/> All(7) of Disk Space		ノーマル
<input type="checkbox"/> All(7) of Queue Length		ノーマル
<input type="checkbox"/> All(12) of CPU		ノーマル
<input type="checkbox"/> All(14) of Operations		ノーマル
<input type="checkbox"/> All(22) of Bandwidth		ノーマル
<input type="checkbox"/> All(66) of Packets		ノーマル
<input type="checkbox"/> AVERAGE(4) of CPU		ノーマル
<input type="checkbox"/> AVERAGE(7) of Disk Space		ノーマル
<input checked="" type="checkbox"/> Bandwidth.6		ノーマル
<input type="checkbox"/> Bandwidth.7		ノーマル
<input type="checkbox"/> Bandwidth.8		ノーマル
<input type="checkbox"/> Bandwidth.11		ノーマル
<input type="checkbox"/> Bandwidth.12		ノーマル
<input type="checkbox"/> Bandwidth.13		ノーマル
<input type="checkbox"/> Bandwidth.14		ノーマル
<input type="checkbox"/> Bandwidth.15		ノーマル
<input type="checkbox"/> Bandwidth.16		ノーマル

[グラフのブックマーク] に、ホスト名 + Bandwidth.6 のリンクが登録されました。



[監視データ](#) | [設定](#)

[ホーム](#) | [グラフ](#) | [スクリーン](#)

[検索](#)

[ブックマーク](#)



[Bandwidth.6](#)

[グラフ](#)



スクリーンが追加されていません。

[スクリーン](#)

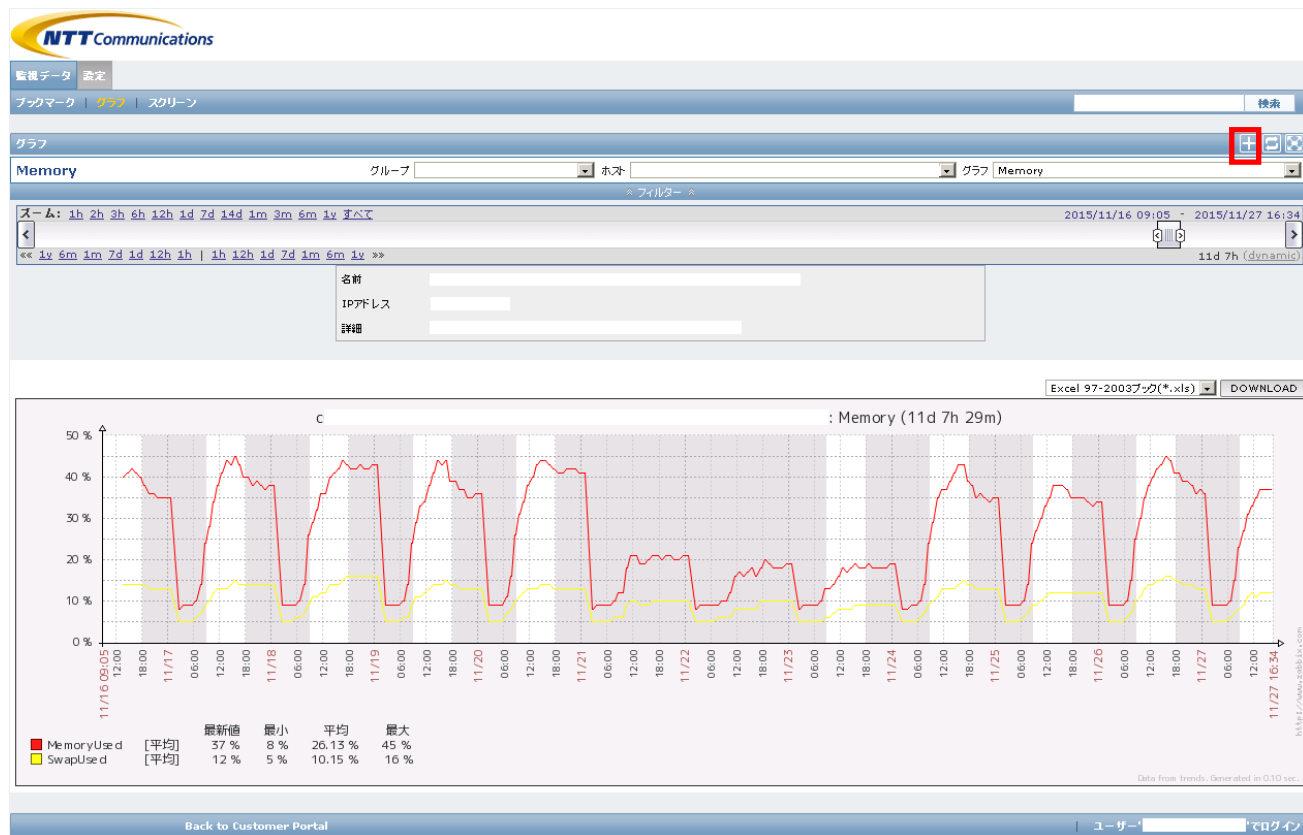
[Back to Customer Portal](#)

[ユーザー](#) [でログイン](#)

7.2.2 グラフを表示してから操作アイコン⁺で登録

対象のグラフを表示します。

画面右上の操作アイコン⁺をクリックすることで、ブックマークに登録が行われます。




ブックマークに登録済みのグラフは、操作アイコンが⁻に変わります。もう一度クリックするとブックマークから削除します。

メニュータブの [監視データ]-[ブックマーク] で、ブックマークが追加されたことを確認できます。



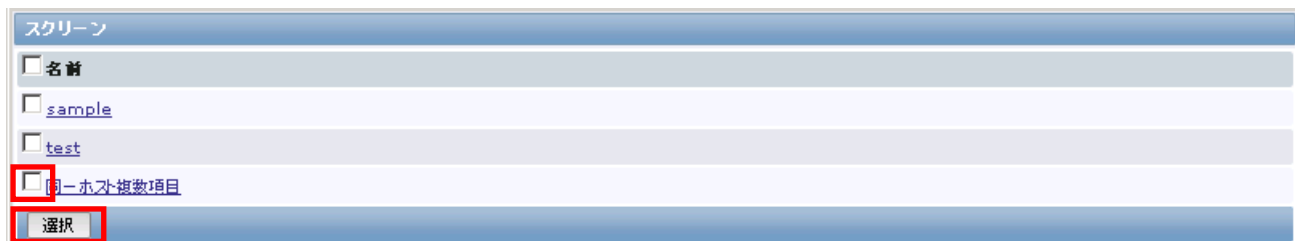
7.2.3 ブックマークのメニューからスクリーンを登録

メニュータブで [監視データ]-[ブックマーク] をクリックします。

[スクリーンのブックマーク] の  をクリックし、プルダウンから [追加 スクリーン] を選択すると、スクリーン選択のポップアップが開きます。



ブックマークに登録したいスクリーンにチェックを入れ、[選択] ボタンをおします。



[スクリーンのブックマーク] にスクリーンのリンクが登録されました。



7.2.4 スクリーンを表示してから操作アイコン⁺で登録

対象のスクリーンを表示します。

画面右上の操作アイコン⁺をクリックすることで、ブックマークに登録が行われます。




ブックマークに登録済みのスクリーンは、操作アイコンが ⁺ に変わります。もう一度クリックするとブックマークから削除します。

メニュータブの [監視データ]-[ブックマーク] で、ブックマークが追加されたことを確認できます。




7.3 ブックマークの削除

ブックマークを削除する方法は2種類あります。

- ・ブックマークのメニューから対象を選択して削除する方法
- ・対象を表示してから操作アイコンで削除する方法

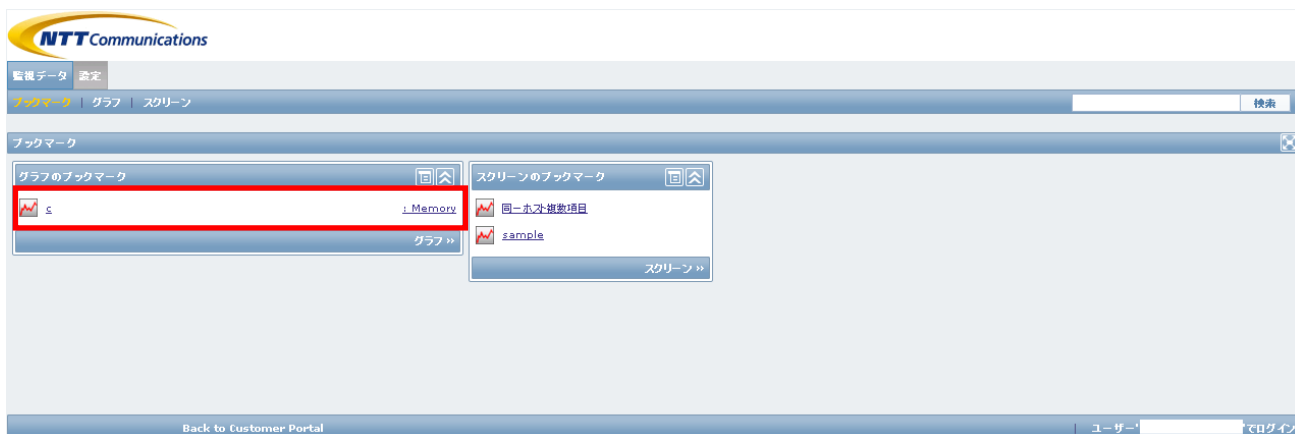
7.3.1 ブックマークのメニューからグラフを削除

メニュータブで [監視データ]-[ブックマーク] をクリックします。

[グラフのブックマーク] の  をクリックし、プルダウンから [削除] を選択すると、削除可能な一覧を表示します。



削除したいグラフ名をクリックすることで、ブックマークから削除ができます。




[削除 すべて グラフ] をクリックすると、登録したすべてのグラフをブックマークから削除します。

7.3.2 グラフを表示してから操作アイコンで削除


対象のグラフを表示します。

画面右上の操作アイコンをクリックすることで、ブックマークから削除が行われます。

ブックマークから削除したグラフは、操作アイコンが  に変わります。もう一度クリックするとブックマークに登録します。

7.3.3 ブックマークのメニューからスクリーンを削除

メニュータブで [監視データ]-[ブックマーク] をクリックします。

[スクリーンのブックマーク] の  をクリックし、プルダウンから [削除] を選択すると、削除可能な一覧を表示します。


削除したいスクリーン名をクリックすることで、ブックマークから削除ができます。

[削除 すべて スクリーン] をクリックすると、登録したすべてのスクリーンをブックマークから削除します。

7.3.4 スクリーンを表示してから操作アイコンで削除

対象のスクリーンを表示します。

画面右上の操作アイコンをクリックすることで、ブックマークから削除が行われます。

ブックマークから削除したスクリーンは、操作アイコンが  に変わります。もう一度クリックするとブックマークに登録します。

8 検索

8.1 概要

検索ボックスに入力した文字列で、ホスト(グラフ)やスクリーンを検索することができます。



番号	名称	説明
①	検索ボックス	検索したい文字列を入力


各画面の右上の「① 検索ボックス」にホスト名、IP アドレス、またはスクリーン名の 1 部を入力し、
[検索] ボタンをクリックすると、条件に一致するホスト(グラフ)やスクリーンを一覧表示します。

検索キーワード	検索条件
ホスト名	ホスト名で部分一致検索します。
IP アドレス	IP アドレスで部分一致検索します。
スクリーン名	スクリーン名で部分一致検索します。

※「.」ピリオド で検索すると、すべてのホストの一覧を表示します。

以下は、「サービス」という文字列で検索した例です。

検索結果のリンクをクリックすることで、グラフ画面やスクリーン画面に遷移します。



監視データ

設定

[ブックマーク](#) | [グラフ](#) | [スクリーン](#)

サービス

検索

検索: サービス

ホスト

↑

ホスト	IPアドレス	グラフ
ファイル共有サービス		グラフ
共有サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービスシステム		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
WEBサービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
WEBサービス 検証		グラフ
WEBサービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ
サービス		グラフ

スクリーン

↑

スクリーン

サービス一覧

1のうち1件を表示しています

23のうち23件を表示しています

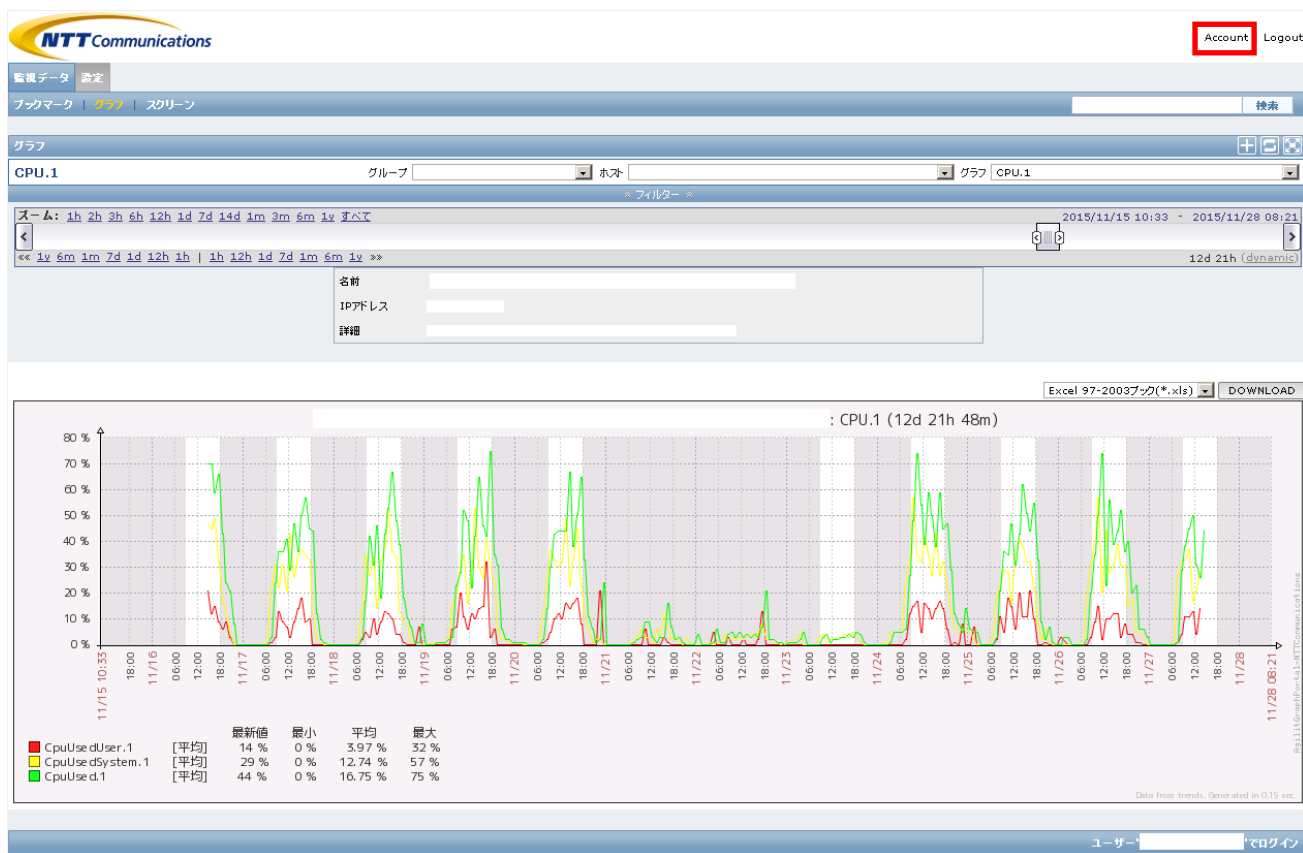
9 パスワード変更

9.1 概要

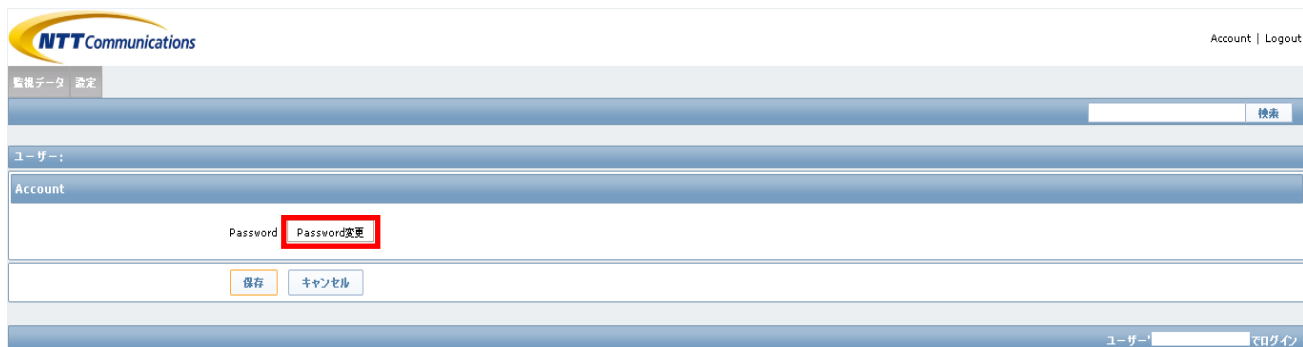
ログインパスワードの変更方法を説明します。

9.2 パスワードの変更方法

1. 各画面の右上の [Account] をクリックします。



2. [Password 変更] ボタンをクリックします。



3. パスワード条件に従って「Password」「Password（確認）」を入力し、[保存] ボタンをおします。



< Password条件 > ・8文字以上16文字以下

- ・使用可能な以下4つの文字種のうち3つ以上を組合せる
英大文字[A～Z]、英小文字[a～z]、数字[0～9]、記号(%,\$,!,&,- のみ)
- ・UsernameをPasswordに含めることはできない
- ・同じ文字を連続で3文字以上含めることはできない

10 お問い合わせ先

AgilitPORTAL サポートメニュー（ <http://support.ntt.com/agilitportal> ）

[サービストップ]-[このサービスのお知らせ] に記載しているお問い合わせ先へご連絡ください。